

学生の確保の見通し等を記載した書類

I 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況

1. 学生確保の見通し

(1) 定員充足の見込み

1) 国際コミュニティ学部の入学定員の考え方

国際コミュニティ学部は、入学定員 150 名、収容定員 600 名であり、内訳は、国際政治学科、入学定員 75 名（収容定員 300 名）、地域行政学科、入学定員 75 名（収容定員 300 名）である。国際コミュニティ学部の基礎となる既存の学科は、法学部国際政治学科であり、その入学定員は 80 名であるので、70 名の増員である。大学全体としては、国際コミュニティ学部を開設する平成 30 年度に、商学部経営学科の入学定員を 155 名から 140 名に 15 名減じ、法学部法律学科の入学定員を 220 名から 195 名に 25 名減じ、人間環境学部人間環境学科 145 名から 115 名に 30 名減じ、合計 70 名の減員となるため、本学の総入学定員 1,415 名、総収容定員 5,660 名に変更はない（「基本計画書」参照）。

2) 法学部国際政治学科の過去 5 年間の志願者状況（資料 1、資料 2）

国際コミュニティ学部の基礎となる法学部国際政治学科（入学定員 80 名）の過去 5 年間の入学者は、平成 25 年度 92 名、平成 26 年度 106 名、平成 27 年度 89 名、平成 28 年度 106 名、平成 29 年度 89 名であり、毎年度入学定員を充足している（資料 1）。

過去 5 年間の志願者の状況は、平成 25 年度 318 名、平成 26 年度 431 名、平成 27 年度 392 名であり、平成 27 年度までは 300 名から 400 名前後にとどまり、志願倍率は 4.0～5.4 倍の範囲であったが、平成 28 年度に大学全体として志願者が増加したことに連動して国際政治学科の志願者数も急増し、平成 28 年度 681 名、平成 29 年度 663 名と 2 年連続 650 名を超え、志願倍率は平成 28 年度 8.5 倍、平成 29 年度 8.3 倍と 8 倍を超えるレベルに達し、十分な志願者を確保できているといえる（資料 2）。

また、競争率（志願者／合格者）は、平成 25～平成 27 年度入試においては 1.4～1.5 倍とやや低いレベルにあったが、平成 28 年度入試 2.4 倍、平成 29 年度入試 3.9 倍と近年 2 倍を超えるレベルにあり、十分な入学者選抜試験を実施することが可能な状況にある（資料 2）。

3) 広島修道大学の過去 5 年間の入学志願者状況（資料 2、資料 3）

広島県内には 15 校の私立大学、広島市内には 10 校の私立大学があり、広島県 2,836,006 人（平成 29 年 2 月現在）、広島市 1,193,774 人（平成 29 年 2 月現在）の総人口、広島県約 27,000 人、広島市約 12,000 人の 18 歳人口に比して、多くの大学が存在する。そのため、

私立大学間において学生確保の激しい競争が生じており、入学定員を充足できない大学も数多くある。本学は、広島県内の私立大学としてはもっとも大きな入学定員、収容定員を有する大学であるが、過去5年間、大学全体として入学定員を充足してきたことはもちろんのこと、学部単位で見ても、入学定員を充足できなかったことは過去5年間一度もない。広島県内において、過去5年間入学定員未充足の学部がない大学は、近畿大学、日本赤十字広島看護大学、本学の3校のみであり、単科大学である近畿大学工学部、日本赤十字広島看護大学看護学部を除けば、複数の学部を持つ総合大学では、本学のみである。

本学の過去5年間の志願者状況は、平成25年度8,383名、平成26年度8,169名、平成27年度7,978名とやや減少傾向にあり、志願者倍率は6.3~6.7倍の範囲にとどまっていたが、新3号館、協創館、9号館など校舎の建て替えと新築、教育学科の設置（平成28年度）と健康科学部の設置（平成29年度）、入学試験制度の改革の実施などが功を奏し、志願者は平成28年度10,820名、平成29年度11,506名と急増し、過去15年間において、はじめて総志願者が1万人を超えた。

本学の入学定員は、平成4年度から平成21年度まで1,255名、平成22年度から平成27年度まで1,260名であり、平成28年度に50名増員して1,310名、平成29年度に105名増員して1,415名となったが、名目倍率（志願倍率）は、平成28年度8.3倍、平成29年度8.1倍と8倍を超え、十分な志願者を獲得できているといえる（資料3）。

4) 広島県と広島市の18歳人口の推移（資料4）

本学は、入学者の県内依存率が高い大学であり、平成28年度の在籍者6,106名のうち4,952名が広島県出身であり、その割合は約81.1%である。また、3,039名が広島市出身者であり、その割合は約49.8%である（人数は平成28年5月1日現在）。

資料3は、平成28年度から平成44年度までの都道府県別の18歳人口の推移を示したものである。これによると16年間で全国では87.3%への減少が見られるが、広島県は91.3%で、東京都114.1%、沖縄県102.5%、福岡県96.8%、愛知県93.5%、神奈川県92.8%、滋賀県91.4%に次いで7番目に減少が少ない県となっている。

また、平成27年の広島県、広島市の年齢別人口統計に基づき、今後10年間の18歳人口の推移を予想してみると、平成28年の広島県18歳人口27,733人は、平成35年に24,802人まで減少、その後増加して平成38年には25,393人であり、10年間で約91.5%に減少することになる。また、平成28年の広島市18歳人口11,937人は平成35年に10,871人まで減少、その後増加して平成38年には11,175人であり、10年間で約93.6%に減少することになる。これは、全国の18歳人口がこの10年間に90.6%へ減少することを考えれば、広島県、広島市は、全国的に見て減少が少ない地域であることが分かる。

また、本学が立地する安佐南区は、住宅地の造成などにより過去20年間に人口が増加した地域であり、安佐南区の平成38年の18歳人口は、平成28年とほぼ同数であると予想される。広島市内に立地する私立大学が多く、私立大学間の学生確保の激しい競争が今後も

続くことが予想される状況において、安佐南区の 18 歳人口の減少がほとんどないことは、本学にとって有利な条件であるといえる。

したがって、18 歳人口の推移は減少傾向にあるとはいえ、そのことが本学の学生確保にとって大きく不利な状況を生じるとは考えにくい。

5) 全国私立大学の法・政治・国際系学科の志願者動向（資料 5）

国際政治学科、地域行政学科の主要な学問分野は政治学であり、隣接する学問分野が法学、国際関係学である。これらの分野の近年の志願者動向について、豊島継男事務所編『一般入試志願状況レポート』に基づき、説明したい。

平成 26～27 年度ごろまで、理系学部の人気が高く、法学・政治学系統の学科は志願者確保に苦しんでいたが、平成 28 年度ごろから文化系学部学科の就職状況が回復するにともない、法学・政治学系統の学部学科の志願者数は、平成 28 年度入試以降、増加に転じている。

『一般入試志願状況レポート』の「私立大学学科系統別志願者増減表」によると、全国の私立大学における法学系統の学科の志願者数は、平成 26 年度入試が 172,476 人と最も低く、その後増加して、平成 29 年度入試では 191,453 人まで達し、政治学系統の学科の志願者数は、平成 27 年度入試が 33,425 人と最も低く、その後増加して、平成 29 年度入試では、44,301 人まで達した。一方、国際系統は、グローバル人材の養成の必要性が指摘される中、平成 25 年度以降の志願者数は、波があるものの増加傾向にあり、平成 25 年度入試の 87,373 人が平成 29 年度入試では 114,585 人に増加している。

以上より、近年の私立大学の志願者動向において、国際政治学科、地域行政学科に関係する法・政治・国際系統の学科は、志願者を増やしつつあることを確認することができる。したがって、平成 30 年度開設の国際コミュニティ学部の両学科は、この点では、志願者を確保しやすい状況にあるといえる。

(2) 定員充足の根拠となる客観的データの概要——ニーズアセスメント調査結果（資料 6）

国際コミュニティ学部の設置構想に伴い、第三者機関（株式会社紀伊國屋書店）によるニーズアセスメント調査を実施した。この調査は、新設予定の国際コミュニティ学部の二つの学科について、学生確保の見通しを示す高校生向けアンケート調査と人材需要の見通しを示す各種事業所向けアンケート調査からなっている（「新設構想についての高校生アンケート調査」結果：資料 6、pp.3～12；「新設構想についての人材需要アンケート調査」結果：資料 6、pp.13～25）。ここでは前者の高校生向けアンケート調査の結果について簡潔に述べる。なお、アンケート調査実施の時点では、二つの学科名を「国際政治学科（仮称）」と「地域創造学科（仮称）」としていたが、平成 28 年 10 月の事前相談において、申請分野について再検討するよう文部科学省の指導を受けたため、カリキュラムを修正するとともに学科名を「地域創造学科」から「地域行政学科」に変更し、また学位名を「地域創造学」から「地域行政学」に変更した。そのため、『広島修道大学平成 30 年度国際コミュニティ

学部新設構想の概要』において解説した内容の中で、学科名・学位名について変更はあるが、開設時期、入学定員、養成する人材、学科の特色、取得できる資格、進路、学費については説明内容に変更はないことから、アンケート結果については地域行政学科のニーズ調査として有効であると考え。以下、このアンケート結果を、地域行政学科のアンケート結果として説明する。

この調査は、本学が国際コミュニティ学部の設置を予定している平成30年度に大学を受験する可能性が最も高い高校2年生（平成30年3月卒業予定者）を対象とし、本学への志願者・入学者が多い広島県を中心とした中国・四国地方の5県（広島県、岡山県、島根県、山口県、愛媛県）の公立・私立77校において、平成28年6～7月に実施し、9,371名から回答を得た。アンケートの実施は、事前に了承の得られた高校に対して必要部数のアンケート用紙を送付し、各校の教職員の監督のもとで行った。回答者（高校生）には、『広島修道大学平成30年度国際コミュニティ学部新設構想の概要』を読んだ上で質問項目に回答するように求めた。調査内容の主な質問項目は、「進学先の希望について」「広島修道大学への進学意欲（新設予定の国際政治学科・地域行政学科、既存の6学部（商学部・人文学部・法学部・経済科学部・人間環境学部・健康科学部））」「回答者の基本情報」などであった。

まず、全回答者（9,371名）の1割に近い785名が、今般設置を計画している本学の国際コミュニティ学部を受験したいと回答した。さらに、この785名のうち、学部の入学定員の2.1倍にあたる313名が「合格した場合には入学したい」と回答し、「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した者も465名にのぼった。

また、785名のうち、460名が国際政治学科を受験したいと回答し（構成比58.6%）、164名が地域行政学科を受験したいと回答した（構成比20.9%）。

今回の調査では、広島県を中心とした中国・四国地方の5県を調査対象地域としたが、本学への入学者が最も多い広島県での調査対象校は公立・私立43校であり、広島県下の全日制高校126校の34%であったことを考えると、実際の受験者数・入学希望者数は当然ながらこれより増加すると考えられる。

次に、学科ごとにアンケート結果を説明する。

1) 国際政治学科

広島修道大学の「国際政治学科」を受験したいと回答した高校生は、予定される入学定員75名の6.1倍にあたる460名であった。

広島修道大学の「国際政治学科」を「受験したい」とした460名に対して、合格した場合の入学意欲について回答を求めた結果、予定される入学定員75名の2.3倍にあたる175名が「入学したい」と回答し、283名が「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した。（資料6, pp.7～8, p.12: グラフ広島修道大学「国際コミュニティ学部（仮称）」および各学科の受験・入学意欲）

2) 地域行政学科

広島修道大学の「地域行政学科」を受験したいと回答した高校生は、予定される入学定員 75 名の 2.2 倍にあたる 164 名であった。

広島修道大学の「地域行政学科」を「受験したい」とした 164 名に対して、合格した場合の入学意欲について回答を求めた結果、予定される入学定員 75 名の 1.1 倍にあたる 83 名が「入学したい」と回答し、81 名が「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した。(資料 6, pp.7~8, p.12: グラフ広島修道大学「国際コミュニティ学部 (仮称)」および各学科の受験・入学意欲)

以上の数字から見て、国際政治学科、地域行政学科の入学定員の確保は可能と考えるが、前述のように、今回の調査結果を中国・四国地方のすべての高校に敷衍すると、入学希望者の数はさらに拡大する。したがって、以上のニーズアセスメント調査の結果より、「国際政治学科」「地域行政学科」ともに、それぞれに予定する 75 名の入学定員を上回る入学者を確保することは十分に可能であると考ええる。

(3) 学生納付金の設定の考え方

国際コミュニティ学部は、法学部国際政治学科を基礎として改組する学部である。そのため、学生納付金については、平成 28 年度に改定した国際政治学科の諸納付金をそのまま適用することとした。

平成 28 年度に納付金を改定した際には、入学金を 6 万円値下げし 22 万円とすることで、入学初年度の負担額を軽減した。一方で、授業料は教育上の必要経費を考慮したうえで、全国私大人文・社会学系の平均額や、県内近隣諸大学、県外同規模競合校などの納付金と比較し、年額 78 万円に値上げした。納付金の額は下表の通りである。

表.国際コミュニティ学部の学生納付金

入学金	授業料	施設設備資金	初年度納付金	4年間納付金
220,000 円	780,000 円	220,000 円	1,220,000 円	4,220,000 円

2. 学生確保に向けた具体的な取組状況

(1) 学生確保に向けた具体的な取り組み状況

1) 魅力ある大学づくり

現在は中国地区では高い競争力を維持し、学生の 81.1%が広島県出身で占める本学ではあるが、これからの学生確保に向けて一層魅力的な大学づくりを行うことが今後の最大の課題であるといえよう。これまでに広島修道大学が展開してきた「魅力ある大学づくり」は以下の点に要約される。

① 「地域イノベーションコース」の設置

平成 26 年度より、専門性を活かしながら持続可能なコミュニティの発展に能動的に寄与できる人材、地域課題の発見を通して新たな価値を創造できる人材を養成するための「地域イノベーションコース」を全学部対象にスタートさせた。このコースは、「平成 25 年度地(知)の拠点整備事業 (COC)」に応募し、採択された「イノベーション・ブリッジによるひろしま未来協創プロジェクト」の一環として取り組んでいる。

「地域イノベーションコース」には、平成 26 年度 249 名、平成 27 年度 421 名、平成 28 年度 628 名の学生が登録している。

本学の取り組みは、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+)」として継承され、地(知)の拠点大学による地方創生推進事業委員会による平成 28 年度評価においては、「A (計画通りの取り組みであり現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる)」の評価を得ることができた。

このプロジェクトの実施により獲得したノウハウや成果は、国際コミュニティ学部の教育に十分取り入れている。

② 「グローバルコース」の設置

平成 26 年度よりグローバルな視野を持ちながら地域に根ざして活躍できる人材を養成する「グローバルコース」を全学部対象にスタートさせた。

「グローバルコース」には、2 年次後期に約半年間の留学プログラムが組み込まれており、アメリカの協定校パシフィック・インターナショナル・アカデミー、又はニュージーランドのクライストチャーチ工科大学 (平成 28 年度から追加) において、英語学習とインターンシップ (サービスマーケティング研修) を組み合わせたプログラムを体験する。

「グローバルコース」は、入試出願時にコース希望者が応募し、応募者のうち入学した者の中から 30~40 名を選考する。

「グローバルコース」の実績は、平成 26 年度入試出願時希望者 724 名、内入学時希望者 217 名、平成 27 年度入試出願時希望者 1,010 名、内入学時希望者 278 名、平成 28 年度入試出願時希望者 1,030 名、内入学時希望者 231 名であり、その中から、平成 26 年度 29 名、平成 27 年度 29 名、平成 28 年度 36 名を選考した。

③ 高大連携事業の強化

広島県備北地区の高校と本学をインターネット回線により結び双方向で行う高大連携遠隔授業や「はばたけ未来に向けて～大学での学びと私たちの未来～」などの高校生向けの公開講座などを積極的に実施し、大学の学びを理解するとともに本学の様子を高校生が知る機会を提供している。

④奨学金制度・スカラシップ制度の充実

奨学金制度については、学生支援機構奨学金以外に本学独自の 8 種（貸与 3，給付 5）の奨学金制度を整備して学生の学びを支援するとともに学業、課外活動、資格取得、国際交流に関するスカラシップ（給付）も充実させている。

2) 積極的な広報活動（資料 7～資料 10）

例年 6 月から 8 月にかけて年 4 回（平成 22 年度は 5 回）のオープンキャンパスを開催して 5,000 名前後の来場者を得てきたが、平成 27 年度には来場者数が急増し 6,000 名を超えて 6,164 名となり、平成 28 年度はさらに増加して 6,846 名の来場者を得る結果となった（資料 7）。また、平成 27 年度からは、これらの通常のオープンキャンパスに加えて 3 月にもプレオープンキャンパスを実施し、新高校 3 年生をターゲットにした広報活動を展開している。

また、本学では従来、入学試験や大学生活に関する受験生や保護者の疑問・質問に直接答えるために、中国・四国地区及び九州地区において、本学職員による入試相談会を開催している（資料 8）。また高校教員を対象とした入試説明会も本学会場並びに地方会場（松江、福山、山口）において毎年実施しており、近年では 4 会場合計で 130 名前後の高校教員が参加している。さらに本学教職員による中国・四国地区及び九州地区の高校訪問件数は毎年 270 校あまりに上る。

さらに、高校からの直接依頼や進路支援業者からの依頼による高校での模擬講義（資料 9）、あるいは高校単位での大学見学会も積極的に開催している（資料 10）。今後も、教員組織と事務組織の連携をさらに強化し、積極的な学生募集活動を展開する。

II 人材需要の動向等社会の要請

1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

国際政治学科と地域行政学科の学位授与の方針（ディプロマポリシー）は、次の 3 つに分類される能力を修得した者に学位を授与することとしており、これらの能力を学生に修得させることが国際コミュニティ学部の教育上の目的である。

(1) 国際政治学科

① 知識と技能

講義やゼミナール、異文化体験などでの読む・聴く・書く・話すことの反復をとおして、日本と世界のさまざまな問題や国際社会のダイナミズムを理解できる基本的知識を収集・整理・理解し、分析・表現することができるようになること。

②思考力・判断力・表現力

修得した知識と技能をもって、自ら課題を発見し、課題の解決に取り組み、国際社会や地域社会の将来や事態の推移を洞察することのできる広い視野と思考力・判断力・実践的なコミュニケーション力等の能力を持つようになること。

③多様な人々との協創

多様な立場や価値観を尊重し、主体性をもって、さまざまな国の人々と相互協力のできる市民としての国際的知性と良識を身につけること。

(2) 地域行政学科

①知識と技能

講義やゼミナール、地域体験などでの読む・聴く・書く・話すことの反復をとおして、広島や日本のさまざまな問題や地域社会の課題を実践的に理解できる基本的知識を収集・整理・理解し、課題解決策を考えることができるようになること。

②思考力・判断力・表現力

修得した知識と技能をもって、自ら課題を発見し、課題の解決に取り組み、地域社会の持続的発展の方策を企画・提案・実行することのできる思考力・判断力・実践的なコミュニケーション力等の能力を持つようになること。

③多様な人々との協創

多様な立場や価値観を尊重し、主体性をもって、地域社会のさまざまな立場の人々と相互協力し、活力を生み出す知性と良識を身につけること。

以上の能力を涵養することによって、**Think Globally, Act Locally** を念頭に、地域社会と国際社会における多様性とダイナミズムを理解できる思考力と知性を身につけ、良識と教養ある判断力を備えた市民を育成することが国際コミュニティ学部の教育目標である。

またこれらの教育上の目的とそれに沿った人材育成によって、それぞれの学科の卒業生は次のような分野において就職を目指す。

(1) 国際政治学科

国際政治学科の卒業生は、海外展開する民間企業、金融機関、メディア系企業、運輸・航空業、翻訳・通訳業、国際機関、行政（国、都道府県、市町村）、学校（中学校、高等学校）、NGO・NPO への就職を目指す。研究者を目指す者には大学院進学を促す。

(2) 地域行政学科

地域行政学科の卒業生は、行政（国、都道府県、市町村）、地域で活動する各種法人（NPO、NGO を含む）、協同組合、地域活力向上に貢献する民間企業（金融機関、旅行業、コンサルタント等）、学校（中学校、高等学）への就職を目指す。研究者を目指す者には大学院進

学を促す。

本学では、学内に公務員試験等受験学習室と呼ばれる学生のための自習室を設けて種々の情報を提供するとともに、外部講師による公務員試験対策講座を提供してきた。また、毎年各種公務員の業務説明会を複数回にわたって実施することで公務員職種に対する学生の理解を深めている。

このような対策が功を奏し、公務員試験の合格者数(延べ人数)は、平成24年度119名、平成25年度139名、平成26年度170名、平成27年度179名と年々増加している(資料11)。平成28年3月の学部卒業生1261名のうち105名が公務員として就職した。既卒生、大学院生も含み人数が多いものを列举すると、広島市I種行政13名、広島県・広島市の小・中学校・特別支援学校教員48名、広島県警26名、広島市I・II種消防10名となる。

2. 客観的根拠——ニーズアセスメント調査結果(資料6)

国際コミュニティ学部の設置構想に伴い、卒業生の人材需要の見通しを測定するために、国際政治学科と地域行政学科のそれぞれについて、第三者機関(株式会社紀伊國屋書店)による人材需要調査を平成28年7月から8月にかけて実施した。以下にその実施の概略と結果について、国際政治学科、地域行政学科の別に述べる。

(1) 国際政治学科

国際政治学科に対する人材需要調査は、広島修道大学卒業生の採用実績が高い広島県内を中心とした中国・四国地方の事業所(企業、地方自治体、NPOなど)を調査対象とした。調査の実施では、まず調査対象先の採用担当者宛に依頼状・アンケート調査用紙1部・返送用封筒を送付し、協力可能な場合には回答済みのアンケート調査用紙を返送してもらった。回答者には『広島修道大学 平成30年度国際コミュニティ学部国際政治学科の概要』を提示し、今般の学部・学科新設構想の概略を理解してもらった上で質問項目に回答するように求めた。

調査内容の項目は、回答者の所属する事業所(機関・施設・会社)の属性に関する項目(質問1・質問2・質問3)、「大学新卒者を採用する際に求める能力・体験(質問4)」「広島修道大学国際コミュニティ学部国際政治学科を卒業した人材の社会的ニーズの高さ(質問5)」「広島修道大学国際コミュニティ学部国際政治学科を卒業した人材の採用可否及びその人数(質問6)」であり、質問9では広島修道大学国際コミュニティ学部に対する意見・要望を自由記述で回答してもらった。調査用紙は1,219ヶ所の事業所に発送し、487ヶ所からの回答があった(回収率40.0%)。487ヶ所の内訳は、建設業25、製造業62、卸売業・小売業127、金融業16、不動産業・物品賃貸業12、宿泊業・飲食サービス業・娯楽業・旅行業11、医療・福祉23、その他サービス31、NPO・NGO・協同組合15、公務94などであった(資料6, p.15)。

国際コミュニティ学部国際政治学科の卒業生の需要について、270 ヶ所 (全体の 55.4%) が社会的ニーズを認めた。また、59 ヶ所 (全体の 12.1%) が「採用したい」、96 ヶ所 (同 19.7%) が「採用を検討したい」とし、合計すると 155 ヶ所 (31.8%) が採用意欲を示した (資料 6, p.17, p.23)。また、採用意欲を示した 155 ヶ所のうち 114 ヶ所が具体的な採用可能人数を示しており、その合計は国際政治学科が予定する入学定員 75 名を大幅に上回る 210 名であった。

本調査において特筆すべきは、広島修道大学国際コミュニティ学部国際政治学科に対する意見・要望に関する自由記述回答である (資料 6, pp.19~21)。例えば、「日本社会において、グローバル化は中小企業でも避けて通れないと思います。そうした環境に適応できる人材の育成を期待させていただきます。(不動産業、物品賃貸業/広島市)」「グローバル感覚を持った学生の育成に取り組んでください。(製造業/山口県)」「弊社はこれより海外展開に注力して参りますので、国際社会で通用する日常的なコミュニケーションと、根本的なメンタルを兼ね備えた方の入社を期待させていただいております。(製造業/広島市)」といった国際政治学科への期待を反映するコメントが寄せられた。

以上の人材需要の観点からも、国際コミュニティ学部国際政治学科の入学定員を 75 名とすることは適切であると考えられる。

(2) 地域行政学科

地域行政学科に対する人材需要調査は、先述の国際政治学科に対する人材需要調査と同じ依頼先に対して同様な手法により実施した。

調査の実施では、まず調査対象先の採用担当者宛に依頼状・アンケート調査用紙 1 部・返送用封筒を送付し、協力可能な場合には回答済みのアンケート調査用紙を返送してもらった。回答者には『広島修道大学 平成 30 年度国際コミュニティ学部地域行政学科の概要』を提示し、今般の学部・学科新設構想の概略を理解してもらった上で質問項目に回答するように求めた。

回答者の所属する事業所 (機関・施設・会社) の属性に関する項目 (質問 1・質問 2・質問 3)、「大学新卒者を採用する際に求める能力・体験 (質問 4)」「広島修道大学国際コミュニティ学部地域行政学科を卒業した人材の社会的ニーズの高さ (質問 7)」「広島修道大学国際コミュニティ学部地域行政学科を卒業した人材の採用可否及びその人数 (質問 8)」であり、質問 9 では広島修道大学国際コミュニティ学部に対する意見・要望を自由記述で回答してもらった。

国際コミュニティ学部地域行政学科の卒業生の需要について、325 ヶ所 (全体の 66.7%) が社会的ニーズを認めた。また、卒業後の採用については 83 ヶ所 (全体の 17.0%) が「採用したい」、143 ヶ所 (同 29.4%) が「採用を検討したい」とし、合計すると 226 ヶ所 (46.4%) が採用意欲を示した (資料 6, p.18, p.24)。また、採用意欲を示した 226 ヶ所のうち 162 ヶ所が具体的な採用可能人数を示しており、その合計は地域行政学科が予定する入学定員 75

名を大幅に上回る 298 名であった。

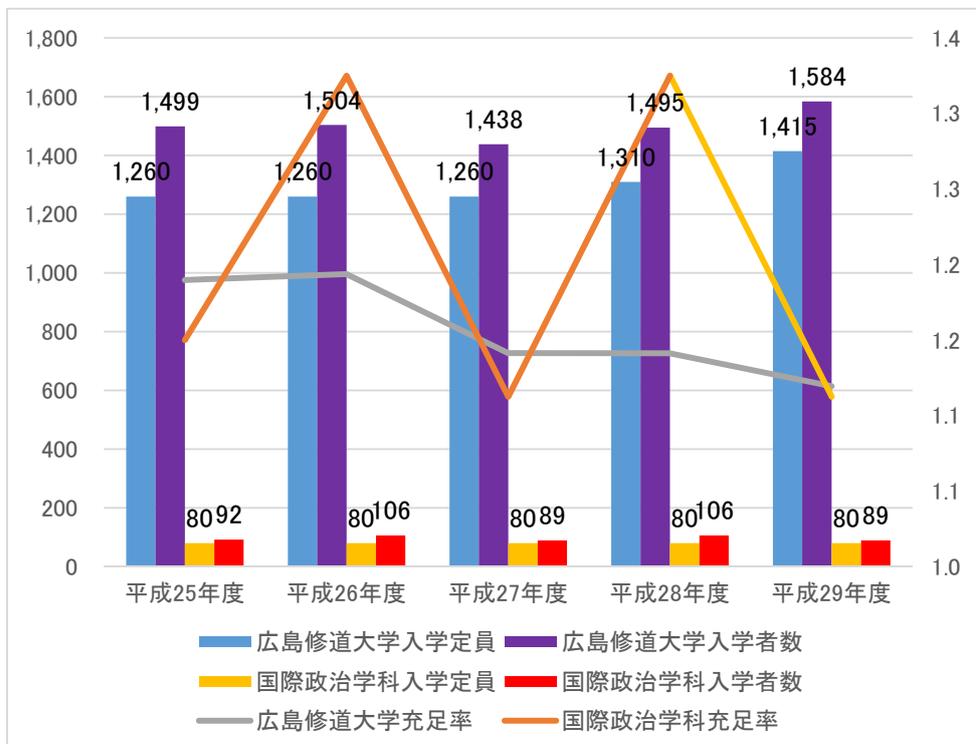
本調査において特筆すべきは、広島修道大学国際コミュニティ学部地域行政学科に対する意見・要望に関する自由記述回答である（資料 6, pp.19~21）。例えば、「広島県内の過疎化が進む町に対策を考え、活性化していけるよう貢献していただきたいです。（宿泊業、飲食サービス／広島県）」「地域密着の企業として、広島活性化に貢献できる人材輩出を期待しています。（運送業、郵便業／広島市）」「地域課題に対する取り組みをしっかりと現場で学び、卓上だけでなく、しっかり経験を積んで学んでほしい。（公務／広島県）」「本県としましては、熱意と問題意識を持って仕事に取り組むチャレンジ精神溢れる方を求めており、貴学の新しい学科が、専門的知識と併せて人間的魅力を培い、公務の魅力と重要性も学べるものとしていただければと思います。（公務／岡山県）」といった地域行政学科への期待を反映するコメントが寄せられた。

以上の人材需要の観点からも、国際コミュニティ学部地域行政学科の入学定員を 75 名とすることは適切であると考ええる。

添 付 資 料

- 資料 1. 広島修道大学と国際政治学科の入学定員充足率の推移
- 資料 2. 志願者数・合格者数の推移と競争率の推移
- 資料 3. 広島修道大学と国際政治学科の過去 5 年間の志願者数・名目倍率の推移
- 資料 4. 広島県・広島市・安佐南区年齢別人口（平成 27 年）に基づく 18 歳人口予想
- 資料 5. 全国私立大学学科系統別志願者数の推移
- 資料 6. 広島修道大学「国際コミュニティ学部(仮称)」新設に係る
ニーズアセスメント調査報告書
- 資料 7. 平成 24 年度～28 年度オープンキャンパス来場者数
- 資料 8. 本学職員による過去 3 ヶ年の受験生・保護者向け入試相談会実績
- 資料 9. 平成 26 年度～28 年度における模擬講義実績
- 資料 10. 平成 26 年度～28 年度における大学見学実績
- 資料 11. 広島修道大学と国際政治学科の
過去 5 年間の就職率・公務員試験合格者数・公務員就職者数の推移

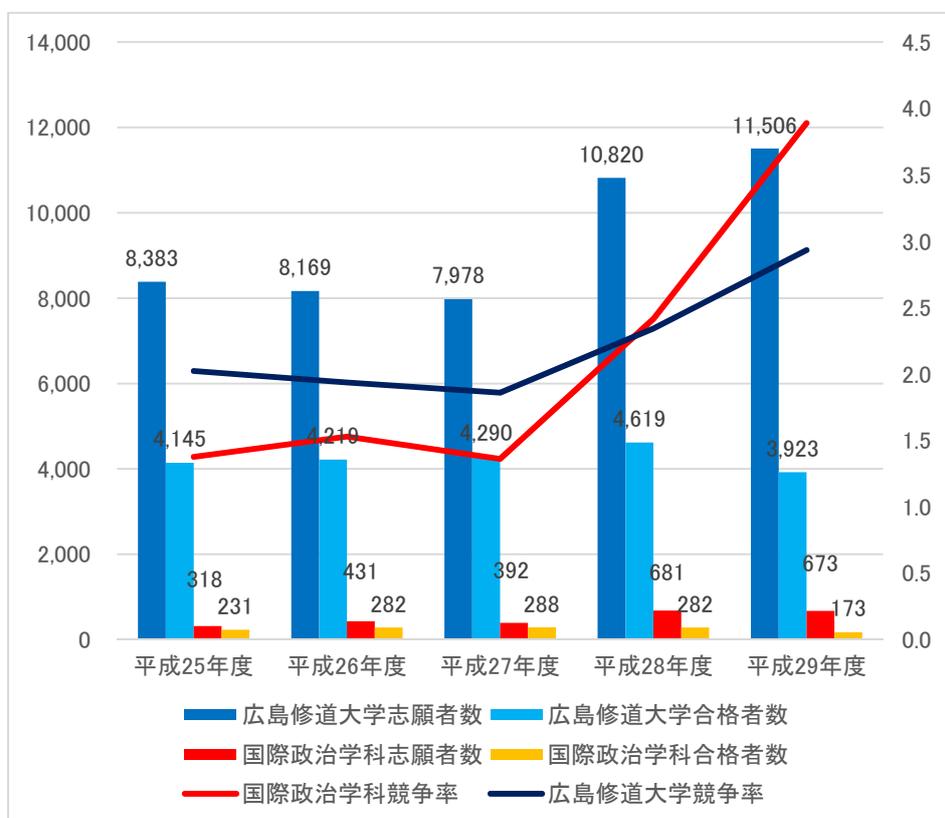
資料 1 広島修道大学と国際政治学科の入学定員充足率の推移



付表 入学定員充足率

		平成 25 年 度	平成 26 年 度	平成 27 年 度	平成 28 年 度	平成 29 年 度
広島修道大学	入学定員	1,260	1,260	1,260	1,310	1,415
	入学者数	1,499	1,504	1,438	1,495	1,500
	充足率	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1
国際政治学科	入学定員	80	80	80	80	80
	入学者数	92	106	89	106	90
	充足率	1.2	1.3	1.1	1.3	1.1

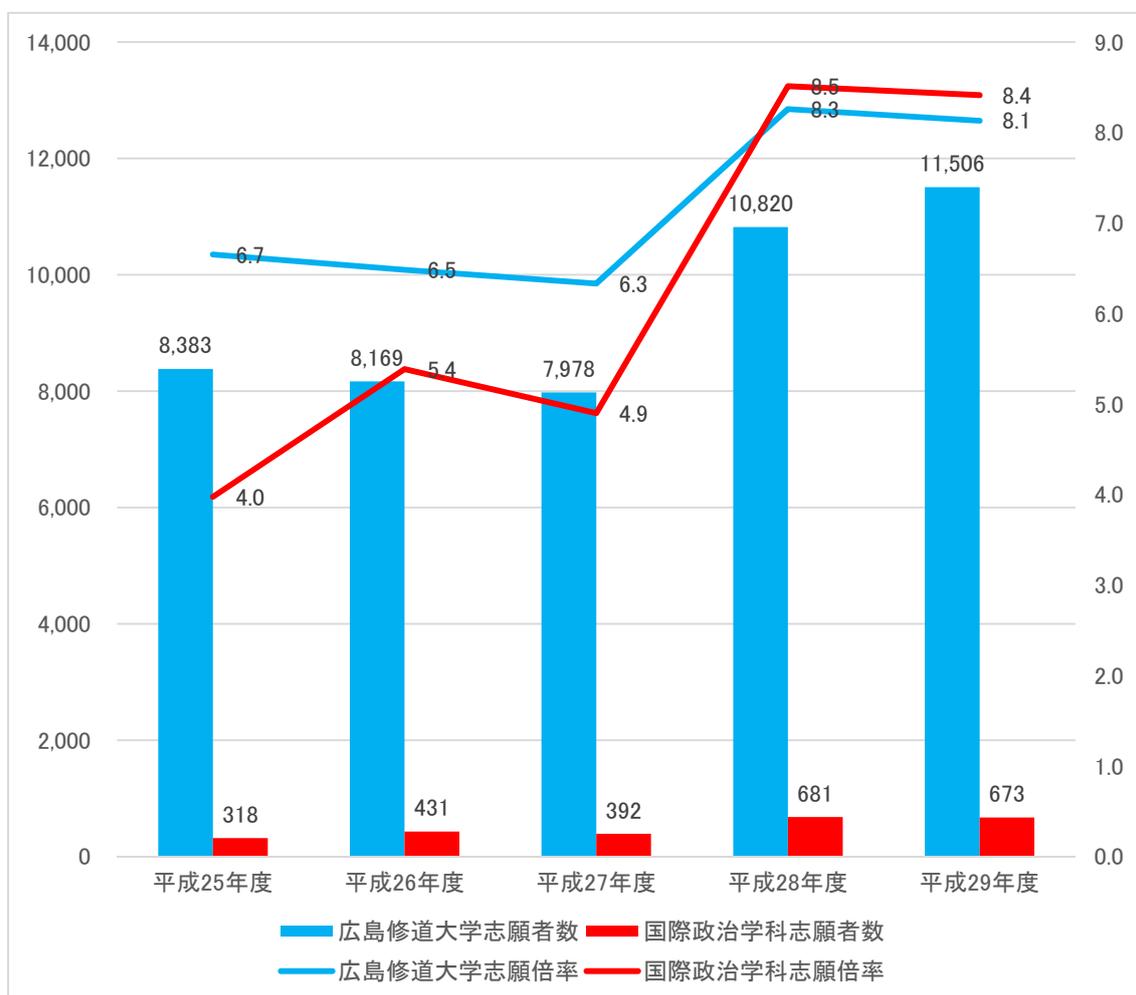
資料2 志願者数・合格者数の推移と競争率の推移



付表

競争率(実質倍率)		平成 25 年 度	平成 26 年 度	平成 27 年 度	平成 28 年 度	平成 29 年 度
広島修道大学	入学定員	1260	1260	1260	1310	1415
	志願者数	8,383	8,169	7,978	10,820	11,506
	合格者数	4,145	4,219	4,290	4,619	3,923
	競争率	2.0	1.9	1.9	2.3	2.9
国際政治学科	入学定員	80	80	80	80	80
	志願者数	318	431	392	681	673
	合格者数	231	282	288	282	173
	競争率	1.4	1.5	1.4	2.4	3.9

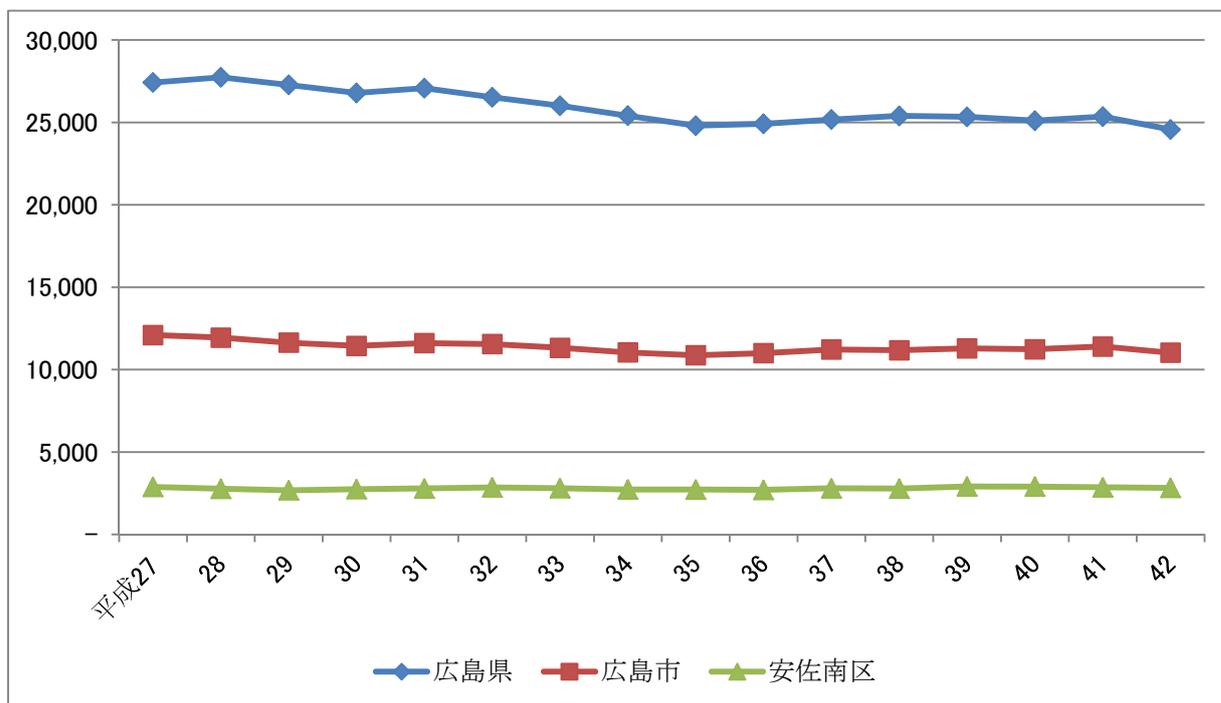
資料3 広島修道大学と国際政治学科の過去5年間の志願者数・名目倍率の推移



付表 志願者数と名目倍率の推移

		平成 25 年 度	平成 26 年 度	平成 27 年 度	平成 28 年 度	平成 29 年 度
広島修道 大学	入学定員	1,260	1,260	1,260	1,310	1,415
	志願者数	8,383	8,169	7,978	10,820	11,506
	名目倍率	6.7	6.5	6.3	8.3	8.1
国際政治 学科	入学定員	80	80	80	80	80
	志願者数	318	431	392	681	673
	名目倍率	4.0	5.4	4.9	8.5	8.3

資料4 広島県・広島市・安佐南区年齢別人口（平成27年）に基づく18歳人口予想



付表 広島県・広島市・安佐南区の人口推移（単位 人）

	広島県	広島市	安佐南区
平成27年	27,422	12,096	2,878
28	27,733	11,937	2,768
29	27,275	11,636	2,675
30	26,786	11,435	2,746
31	27,078	11,605	2,788
32	26,522	11,546	2,852
33	26,010	11,318	2,804
34	25,406	11,042	2,726
35	24,802	10,871	2,718
36	24,910	10,995	2,700
37	25,171	11,218	2,795
38	25,393	11,175	2,779
39	25,334	11,287	2,910
40	25,099	11,232	2,900
41	25,353	11,397	2,857
42	24,567	11,025	2,823

資料5 全国私立大学学科系統別志願者数の推移



付表 全国私立大学学科系統別志願者数の推移

(単位 人)

学科系統	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
法	177,034	<u>172,476</u>	178,254	184,008	191,453
政治	36,242	34,414	<u>33,425</u>	39,502	44,301
国際	<u>87,373</u>	97,705	92,749	96,032	114,585

豊島継男事務所編『一般入試志願状況レポート』(2013年度版・2015年度版・2017年度版)による

資料6 広島修道大学
「国際コミュニティ学部（仮称）」
新設に係るニーズアセスメント調査 報告書

株式会社 紀伊國屋書店

目次

1章 学生確保の見通し調査【新設構想についての高校生アンケート調査】結果	3
1. 「新設構想についての高校生アンケート調査」概要	4
2. 「新設構想についての高校生アンケート調査」集計結果	5
3. 「新設構想についての高校生アンケート調査」集計結果のポイント	10
2章 人材需要の見通し調査【新設構想についての人材需要アンケート調査】結果	13
1. 「新設構想についての人材需要アンケート調査」概要	14
2. 「新設構想についての人材需要アンケート調査」集計結果	15
3. 「新設構想についての人材需要アンケート調査」集計結果のポイント	22
添付資料	
【添付①】「新設構想についての高校生アンケート調査」	27
【添付②】「新設構想についての人材需要アンケート調査」	31

※本調査の実施主体： 株式会社紀伊國屋書店（実施委託先：株式会社高等教育総合研究所）

1章

学生確保の見通し調査

【新設構想についての高校生アンケート調査】

結 果

1. 「新設構想についての高校生アンケート調査」概要

- ◆ **調査内容：** 広島修道大学が平成30年度に新設を予定する「国際コミュニティ学部（仮称）」の2つの学科「国際政治学科（仮称）」「地域創造学科（仮称）」の学生確保の見通しを測定するために、高校生アンケート調査を実施した。
→ 配布アンケート用紙は27ページ・【添付①】「新設構想についての高校生アンケート調査」
- ◆ **調査時期：** 平成28年6～7月
- ◆ **調査対象：** 平成30年度の大学入試を受験する可能性が最も高い高校2年生（平成30年3月卒業予定者）をアンケートの対象とした。
- ◆ **調査方法：** アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者（高校2年生）にアンケート用紙を配布の上、10分程度の回答時間を設け、その場で回収頂いた。
- ◆ **実施高校：** 広島修道大学に志願者・入学者が多い広島県を中心とした中国・四国地方の実績校にアンケート実施を依頼し、77校にご協力頂いた。

実施高校の県別内訳

	公立	私立	合計	割合
島根県	8	1	9	11.7%
岡山県	3	3	6	7.8%
広島県	26	17	43	55.8%
山口県	8	3	11	14.4%
愛媛県	6	2	8	10.4%
合計	51	26	77	100.0%
割合	66.2%	33.8%	100.0%	

- ◆ **実施人数：** 9,371人 ※男子4,132人、女子5,191人、性別無回答48人
公立5,499人、私立3,872人

2. 「新設構想についての高校生アンケート調査」集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたがお住まいの市町村または都道府県をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 広島市	3,034	32.4%
2. 府中町	191	2.0%
3. 海田町	127	1.4%
4. 熊野町	64	0.7%
5. 坂町	31	0.3%
6. 廿日市市	147	1.6%
7. 大竹市	37	0.4%
8. 安芸太田町	28	0.3%
9. 北広島町	91	1.0%
10. 安芸高田市	48	0.5%
11. 江田島市	35	0.4%
12. 呉市	459	4.9%
13. 東広島市	341	3.6%
14. 大崎上島町	1	0.0%
15. 竹原市	14	0.1%
16. 三原市	103	1.1%
17. 世羅町	43	0.5%
18. 三次市	67	0.7%
19. 尾道市	108	1.2%
20. 福山市	435	4.6%
21. 府中市	66	0.7%
22. 神石高原町	8	0.1%
23. 庄原市	9	0.1%
24. 山口県	836	8.9%
25. 島根県	951	10.1%
26. 鳥取県	1	0.0%
27. 岡山県	1,111	11.9%
28. 愛媛県	874	9.3%
29. その他	58	0.6%
(無回答)	53	0.6%
合計	9,371	100.0%

⇒ 問1結果を広島県内・広島県外別にみた場合、以下の通りである。

選択項目	回答数	構成比
広島県内	5,487	58.6%
広島県外	3,831	40.9%
(無回答)	53	0.6%
合計	9,371	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 男性	4,132	44.1%
2. 女性	5,191	55.4%
(無回答)	48	0.5%
合計	9,371	100.0%

問3 高校卒業後の希望進路についてお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 大学	7,102	75.8%
2. 短期大学	939	10.0%
3. 専門学校	1,888	20.1%
4. 就職	864	9.2%
5. その他	146	1.6%

※ 問3は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 9,371人 (全回答者の人数)

問4 あなたの興味のある学問分野をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 文学・歴史・心理	1,859	19.8%
2. 経済・経営・商学	1,794	19.1%
3. 法学・政治	694	7.4%
4. 地域科学・地域政策	155	1.7%
5. 社会・社会福祉・観光	595	6.3%
6. 外国語・国際関係	1,236	13.2%
7. 教育・保育	2,231	23.8%
8. 理学・工学・情報	1,162	12.4%
9. 農・畜産・水産	311	3.3%
10. 医学・歯学・薬学	625	6.7%
11. 医療（看護）	1,017	10.9%
12. 医療（看護以外）	548	5.8%
13. 栄養・家政	851	9.1%
14. スポーツ・健康科学	1,410	15.0%
15. 芸術	914	9.8%
16. その他	487	5.2%

※ 問4は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 9,371人 (全回答者の人数)

問5 あなたが将来、希望する進路をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 一般企業	2,296	24.5%
2. 公務員	2,076	22.2%
3. 専門職（資格をいかす職業）	3,093	33.0%
4. 教員	1,112	11.9%
5. 起業・会社経営	316	3.4%
6. まだ決めていない	2,661	28.4%
7. その他	266	2.8%

※ 問5は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 9,371人（全回答者の人数）

問6以降は広島修道大学「国際コミュニティ学部（仮称）の概要」を見た上での回答を求めた。

問6 あなたは「国際コミュニティ学部(仮称)」のいずれかの学科を受験したいと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
1. 受験したい	785	8.4%
2. 受験しない	8,309	88.7%
(無回答)	277	3.0%
合計	9,371	100.0%

次の問7・問8は、問6で「1. 受験したい」を選択した高校生（785人）のみが回答対象

問7 「国際コミュニティ学部(仮称)」に開設される2つの学科のうち、あなたが受験したいと思う学科をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 国際政治学科（仮称）	460	58.6%
2. 地域創造学科（仮称）	164	20.9%
3. 未定	153	19.5%
(無回答)	8	1.0%
合計	785	100.0%

問8 あなたは「国際コミュニティ学部(仮称)」のいずれかの学科を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
1. 合格した場合、入学したい	313	39.9%
2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	465	59.2%
(無回答)	7	0.9%
合計	785	100.0%

⇒ 問8結果を問7結果別(受験したい学科別)にみた場合、以下の通りである。

選択項目	「1. 合格した場合、入学したい」		「2. 合格した場合、併願大学の結果によって～」		左記・1+2の合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1. 国際政治学科(仮称)	175	55.9%	283	60.9%	458	58.9%
2. 地域創造学科(仮称)	83	26.5%	81	17.4%	164	21.1%
3. 未定	53	16.9%	98	21.1%	151	19.4%
(無回答)	2	0.6%	3	0.6%	5	0.1%
合計	313	100.0%	465	100.0%	778	100.0%

※ 問8で無回答だった7人は除外。

(問8)で2の方は、併願先として検討中の大学・学部をお答えください。

選択項目		回答数	構成比
他大学等	1. 国公立大学	233	50.1%
	2. その他の私立大学	104	22.4%
	3. 短期大学・専門学校	30	6.5%
	4. その他	5	1.1%
商学部	5. 商学科	12	2.6%
	6. 経営学科	23	4.9%
人文学部	7. 人間関係学科社会学専攻	9	1.9%
	8. 教育学科	41	8.8%
	9. 英語英文学科	54	11.6%
法学部	10. 法律学科	15	3.2%
経済科学部	11. 現代経済学科	6	1.3%
	12. 経済情報学科	9	1.9%
人間環境学部	13. 人間環境学科	12	2.6%
健康科学部	14. 心理学科	18	3.9%
	15. 健康栄養学科	13	2.8%

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 465人(問7で2を選択した者)

次の問9・10は、問6で「2. 受験しない」を選択した高校生（8,309人）のみが回答対象

問9 あなたが「国際コミュニティ学部(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 興味・関心のある学問分野ではないから	5,523	66.5%
2. 国公立大学への進学を希望しているから	2,054	24.7%
3. 他の私立大学への進学を希望しているから	1,032	12.4%
4. 短期大学への進学を希望しているから	354	4.3%
5. 専門学校への進学を希望しているから	983	11.8%
6. 就職を希望しているから	480	5.8%
7. アクセスが不便そうだから	288	3.5%
8. 学費が高いから	875	10.5%
9. その他	211	2.5%

※ 問9は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 8,309人（問6で2を選択した者）

問10 以下は「国際コミュニティ学部(仮称)」以外の広島修道大学の学科です。
あなたが受験を検討したいと思う学科、もしくは興味・関心がある学科はありますか。

	選択項目	回答数	構成比
商学部	1. 商学科	676	8.1%
	2. 経営学科	1,031	12.4%
人文学部	3. 人間関係学科社会学専攻	383	4.6%
	4. 教育学科	1,830	22.0%
	5. 英語英文学科	579	7.0%
法学部	6. 法律学科	524	6.3%
経済科学部	7. 現代経済学科	542	6.5%
	8. 経済情報学科	592	7.1%
人間環境学部	9. 人間環境学科	419	5.0%
健康科学部	10. 心理学科	1,435	17.3%
	11. 健康栄養学科	1,020	12.3%

※ 問10は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 8,309人（問6で2を選択した者）

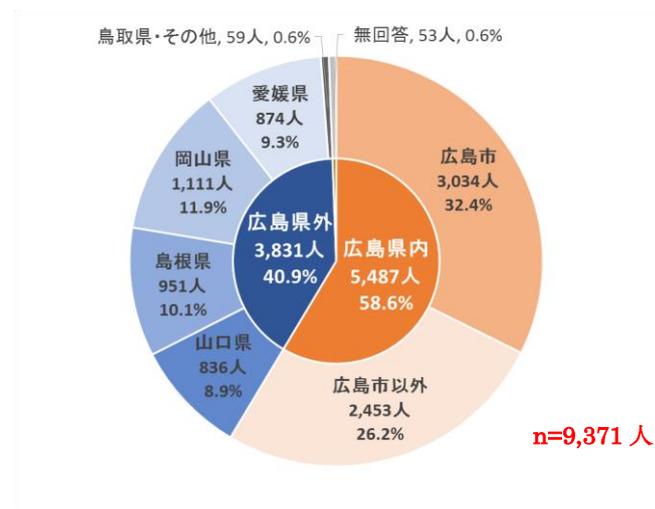
3. 「新設構想についての高校生アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

- 回答者の約6割が広島県内、約4割が県外（隣接県）の高校生。

高校生アンケート調査の回答を得た高校生 9,371 人のうち、約6割の 5,487 人（全体の 58.6%）が広島県内、約4割の 3,831 人（同 40.9%）が広島県外（隣接する山口県、島根県、岡山県、および愛媛県）在住の高校生であった。また、広島県内の高校生のうち、3,034 人（同 32.4%）人が、広島修道大学の所在地である広島市内在住の高校生であった。

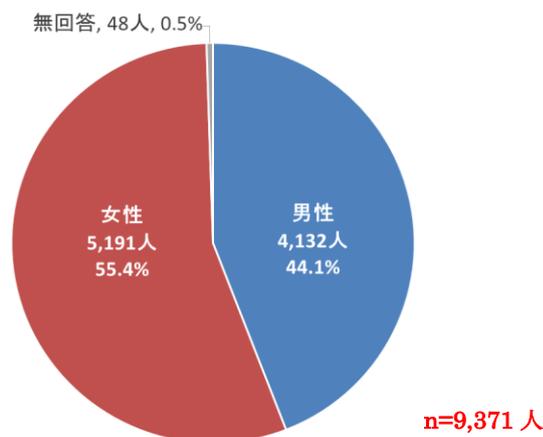
グラフ 回答を得た高校生の居住地（「問1」結果より）



- 回答者の男女比は、女性が男性をやや上回る。

回答を得た高校生 9,371 人のうち、男性は 4,132 人(44.1%)、女性は 5,191 人 (55.4%) であった。

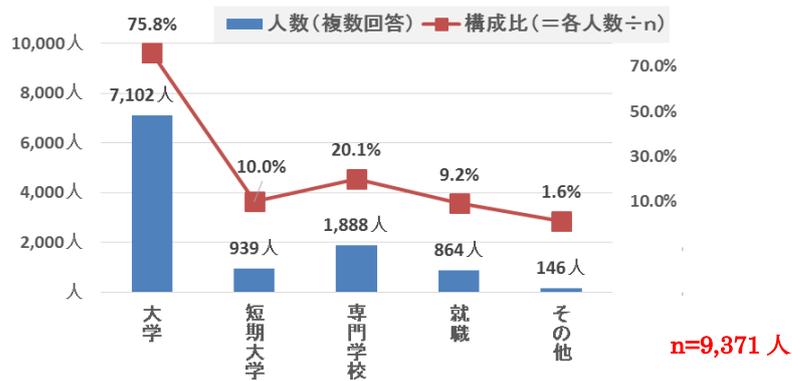
グラフ 回答を得た高校生の男女別（「問2」結果より）



● 回答者の4人中3人が高校卒業の進路として大学進学を検討。

回答を得た高校生 9,371 人のうち、4 人中 3 人にあたる 7,102 人（全体の 75.8%）が高校卒業後の進路として「大学」を選択した（複数回答の結果）。

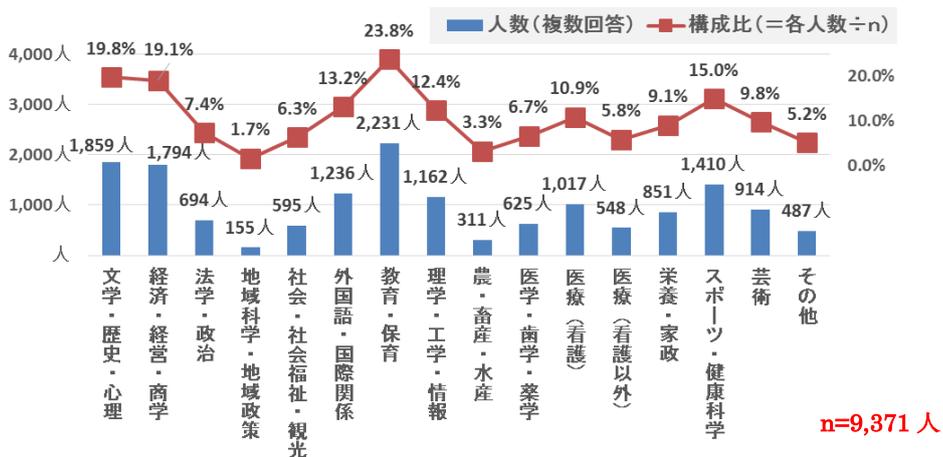
グラフ 高校卒業後の希望進路（「問3」結果より）※複数回答の結果



● 興味のある学問分野の上位3分野は「教育・保育」「文学・歴史・心理」「経済・経営・商学」。

回答を得た高校生 9,371 人のうち、興味のある学問分野として「教育・保育」を挙げた者は 2,231 人（全体の 23.1%）おり、設問項目に置いた 15 の選択肢のうちで最も多い結果となった（複数回答の結果）。

グラフ 興味のある学問分野（「問4」結果より）※複数回答の結果

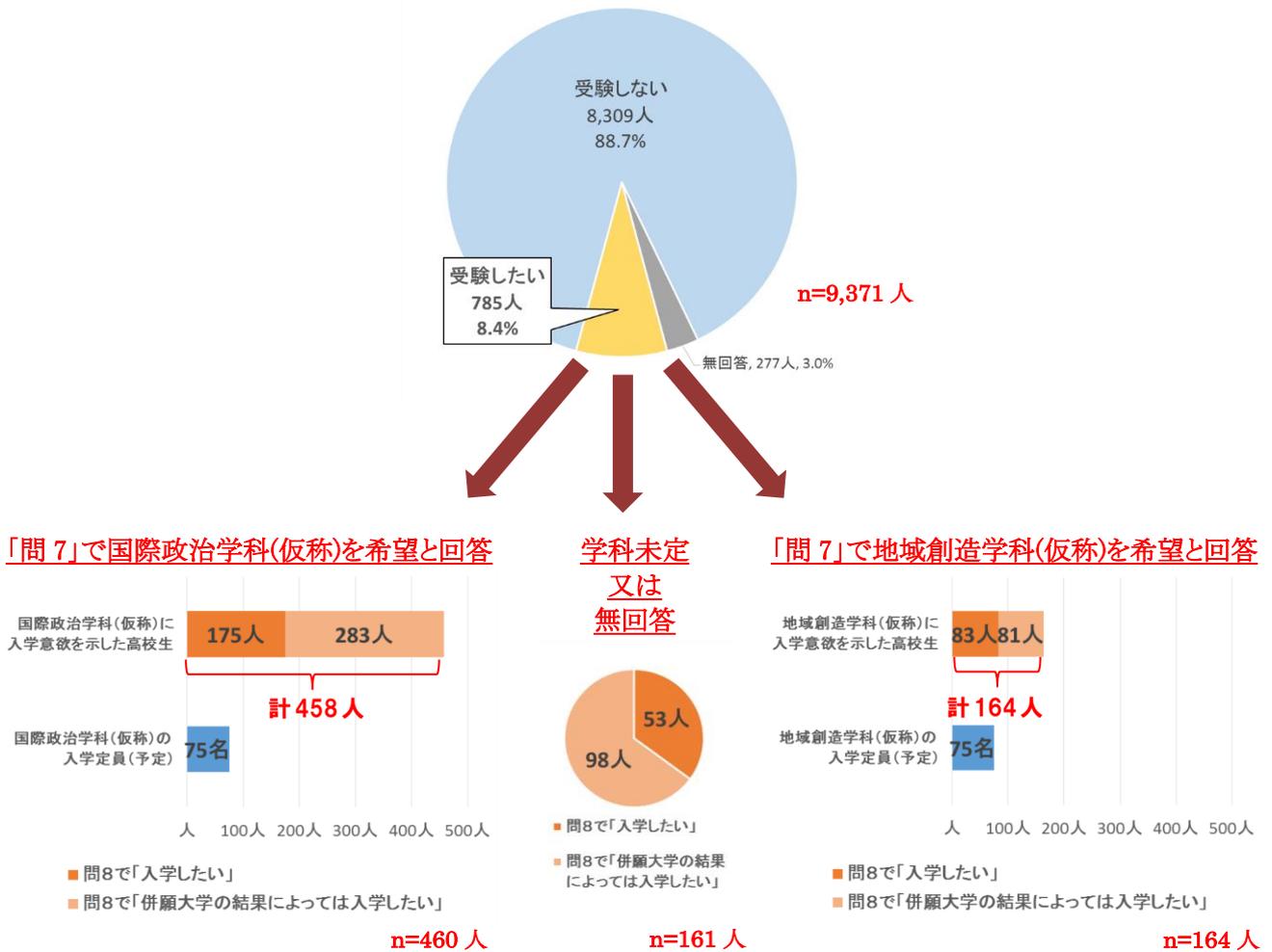


● 広島修道大学の「国際コミュニティ学部(仮称)」に開設予定の2学科ともに定員を上回る入学希望者。

広島修道大学が新設を予定する「国際コミュニティ学部(仮称)」および開設される2つの学科(「国際政治学科(仮称)」、「地域創造学科(仮称)」)の概要を示し、いずれかの学科への受験意欲の有無についての回答を求めた結果、回答を得た高校生9,371人の1割近い785人(全体の8.4%)が「受験したい」と答えた。

さらに、「受験したい」とした785人に対し、具体的に希望する学科および入学意欲について回答を求めた。結果、「国際政治学科(仮称)を希望するとし、「入学したい」とした高校生は175人、「併願大学の結果によっては入学したい」とした283人を含めると合計458人(入学定員の6.1倍)であった。また、「地域創造学科(仮称)を希望するとし、「入学したい」とした高校生は83人、「併願大学の結果によっては入学したい」とした81人を含めると合計164人(入学定員の2.2倍)であった。いずれの学科も「入学したい」と回答した高校生のみで予定入学定員(各75名)を上回る結果となった。

グラフ 広島修道大学「国際コミュニティ学部(仮称)」および各学科の受験・入学意欲(「問6」結果より)



2章

人材需要の見通し調査

【新設構想についての人材需要アンケート調査】

結 果

1. 「新設構想についての人材需要アンケート調査」概要

- ◆ **調査内容：** 広島修道大学が平成 30 年度に新設を予定する「国際コミュニティ学部（仮称）」の 2 つの学科「国際政治学科（仮称）」「地域創造学科（仮称）」の卒業生の人材需要の見通しを測定するために、人材需要アンケート調査を実施した。
→ 配布アンケート用紙は 31 ページ・【添付②】「新設構想についての人材需要アンケート調査」
- ◆ **調査時期：** 平成 28 年 7～8 月
- ◆ **調査対象：** 広島修道大学卒業生の採用実績がある広島県を中心とした中国・四国地方の事業所（企業、地方自治体、NPO など）、計 1,219 ヶ所を調査対象とした。
- ◆ **調査方法：** 調査対象先の採用担当者宛にアンケート調査用紙 1 部・依頼状・返送用封筒を送付した。ご協力いただける場合、回答済のアンケート調査用紙をご返送いただいた。
- ◆ **回収件数：** 487 ヶ所（回収率 40.0%） / 1,219 ヶ所

2. 「新設構想についての人材需要アンケート調査」集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴社・貴機関・貴団体の主業種をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 農業、林業、漁業、鉱業	3	0.6%
2. 建設業	25	5.1%
3. 電気・ガス・熱供給、水道業	3	0.6%
4. 製造業	62	12.7%
5. 通信業、IT関連業	8	1.6%
6. 放送・新聞・出版業	4	0.8%
7. 運送業、郵便業	14	2.9%
8. 卸売業、小売業	127	26.1%
9. 金融業（銀行、信託、証券、貸金）	16	3.3%
10. 保険業	2	0.4%
11. 不動産業、物品賃貸業	12	2.5%
12. 学術研究、専門・技術・翻訳サービス業	6	1.2%
13. 宿泊業、飲食サービス業	15	3.1%
14. 教育、学習支援業	5	1.0%
15. 生活関連サービス業、娯楽業、旅行業	11	2.3%
16. 医療、福祉	23	4.7%
17. その他サービス	31	6.4%
18. NPO、NGO、協同組合	15	3.1%
19. 公務	94	19.3%
20. その他	10	2.1%
(無回答)	1	0.2%
合計	487	100.0%

問2 貴社・貴機関・貴団体の本社または主たる事業所の所在地をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 広島県（広島市内）	203	41.7%
2. 広島県（広島市以外）	97	19.9%
3. 山口県	43	8.8%
4. 島根県	29	6.0%
5. 岡山県	39	8.0%
6. 鳥取県	10	2.1%
7. 愛媛県	23	4.7%
8. その他 ※香川県、徳島県、高知県	41	8.4%
(無回答)	2	0.4%
合計	487	100.0%

問3 貴社・貴機関・貴団体の従業員または職員数の規模をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. ～99人	150	30.8%
2. 100～499人	223	45.8%
3. 500～999人	63	12.9%
4. 1,000～2,999人	36	7.4%
5. 3,000～9,999人	10	2.1%
6. 10,000人～	3	0.6%
(無回答)	2	0.4%
合計	487	100.0%

問4 新卒生を採用する際に、求める能力・体験等をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. コミュニケーション能力	456	93.6%
2. 基礎的な学力	260	53.4%
3. 専攻学問の専門的な知識	43	8.8%
4. 語学力	31	6.4%
5. 考え抜く力	215	44.1%
6. 前に踏み出す力	242	49.7%
7. 目的達成思考	256	52.6%
8. 適応力	342	70.2%
9. インターンシップ経験	3	0.6%
10. ボランティア経験	13	2.7%
11. 忍耐力	258	53.0%
12. 理解力	232	47.6%
13. 論理力	99	20.3%
14. 取得資格・免許	66	13.6%
15. ITスキル	26	5.3%
16. その他	24	4.9%

※ 問4は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 487ヶ所 (全回答事業所数)

問5以降は広島修道大学「国際コミュニティ学部（仮称）」の概要を見た上での回答を求めた。

問5 広島修道大学が新設構想中の「国際コミュニティ学部（仮称）」に開設される2つの学科のうち、「国際政治学科（仮称）」が養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか。

選択項目	回答数	構成比
1. ニーズは極めて高い	42	8.6%
2. ニーズはある程度高い	228	46.8%
3. どちらとも言えない	170	34.9%
4. ニーズはそれほど高くない	31	6.4%
5. ニーズは高くない	11	2.3%
(無回答)	5	1.0%
合計	487	100.0%

問6 広島修道大学が新設構想中の「国際コミュニティ学部（仮称）」に開設される2つの学科のうち、「国際政治学科（仮称）」が養成する人材を採用したいと思われますか。

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	59	12.1%
2. 採用を検討したい	96	19.7%
3. どちらとも言えない	306	62.8%
4. 採用はしない	25	5.1%
(無回答)	1	0.2%
合計	487	100.0%

(問6)で) 1または2の場合、よろしければ採用可能と思われる人数をご記入ください。

提示人数	全体		問6で「採用したい」		問6で「採用を検討したい」	
	回答数	人数合計	回答数	人数合計	回答数	人数合計
1人	57	57	15	15	42	42
2人	36	72	17	34	19	38
3人	13	39	7	21	6	18
4人	3	12	3	12	0	0
5人	4	20	3	15	1	5
10人	1	10	1	10	0	0
(無回答)	41	-	13	-	28	-
合計	155	210	59	107	96	103

問7 広島修道大学が新設構想中の「国際コミュニティ学部(仮称)」に開設される2つの学科のうち、「地域創造学科(仮称)」が養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか。

選択項目	回答数	構成比
1. ニーズは極めて高い	78	16.0%
2. ニーズはある程度高い	247	50.7%
3. どちらとも言えない	131	26.9%
4. ニーズはそれほど高くない	21	4.3%
5. ニーズは高くない	6	1.2%
(無回答)	4	0.8%
合計	487	100.0%

問8 広島修道大学が新設構想中の「国際コミュニティ学部(仮称)」に開設される2つの学科のうち、「地域創造学科(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われますか。

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	83	17.0%
2. 採用を検討したい	143	29.4%
3. どちらとも言えない	243	49.9%
4. 採用はしない	16	3.3%
(無回答)	2	0.4%
合計	487	100.0%

(問8) で) 1または2の場合、よろしければ採用可能と思われる人数をご記入ください。

提示人数	全体		問6で「採用したい」		問6で「採用を検討したい」	
	回答数	人数合計	回答数	人数合計	回答数	人数合計
1人	91	91	24	24	67	67
2人	40	80	23	46	17	34
3人	17	51	11	33	6	18
4人	4	16	3	12	1	4
5人	8	40	5	25	3	15
10人	2	20	1	10	1	10
(無回答)	64	-	16	-	48	-
合計	226	298	83	150	143	148

問9 広島修道大学が新設構想中の「国際コミュニティ学部(仮称)」に対して、期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

※ 69ヶ所から回答を得た。以下、回答内容を掲載(原文通り)。順不同。【】内は【業種/所在地/従業員規模】を示す。

1	今年は、貴学より3名の方が入社されています。福祉に対して志のある方、興味のある方、地域社会に貢献したい方の育成に努めて頂ければと期待しております。【医療、福祉/広島県(広島市内)/~99人】
2	弊社は、広島県内にしか事業所がないので、地域創造学科の学生とは需給がマッチするのではと期待します。【卸売業、小売業/広島県(広島市内)/100~499人】

3	「広島」の悲劇を繰り返さない為に、広島だからこそ世界へ発信できること、方法などを育てて頂きたいと思います。【製造業/愛媛県/100～499人】
4	国際・地域のそれぞれの特徴や特性を勉強し、どうすればデータを収集したり、社会人になって活かせるかを考えながら、取り組んで頂けたら、とても良いと思います。【金融業(銀行、信託、証券、貸金)/その他/100～499人】
5	自国の歴史・文化へ理解、総合的なヒューマンスキルの育成を期待します。【通信業、IT関連業/岡山県/500～999人】
6	グローバルな視点とローカルな視点、双方がこれからの日本の在り方に直結する物の見方、考え方だと思います。特に地域都市である広島は、国際平和都市としての位置づけにも、今後大きな注目と期待が寄せられる事は間違いないと思います。国際的な視野で、地方(地域)の新しい価値を創造できる人材の育成を期待します。【不動産業、物品賃貸業/広島県(広島市内)/100～499人】
7	日本社会において、グローバル化は中小企業でも避けて通れないと思います。そうした環境に適応できる人材の育成を期待させていただきます。【不動産業、物品賃貸業/広島県(広島市内)/100～499人】
8	海外留学や仕事で海外に行った人が等しく言うのは、いくら語学力があっても、海外事情に精通していても、自国の伝統や文化について聞かれることが多く、適切に答えられないと信用されないと。まず、日本文化を教えて欲しいと思います。【その他/広島県(広島市内)/～99人】
9	海外の大学との単位の交換ができる位のカリキュラムが必要だと思います。【宿泊業、飲食サービス業/広島県(広島市以外)/～99人】
10	国際社会と地域社会がどう関係し、どう影響し合っているのか、関連付けた教育を期待しています。【卸売業、小売業/広島県(広島市内)/100～499人】
11	海外へ出る事に積極的な人材をお願い致します。【建設業/岡山県/100～499人】
12	学生自身が、主体的に行動できるようになるプログラムを専門分野に盛り込んで欲しい。自らが疑問を持って、考える(調べる)ことができるようにしてほしい。【電気・ガス・熱供給、水道業/広島県(広島市内)/100～499人】
13	これからは、グローバルに活躍できる人材の育成が大変重要になってくると思われま。我々の業界も国内外のお客様を相手にしており、よりスキルとモチベーションの高い学生が一人でも多く活躍してもらえ事を祈念しております。【宿泊業、飲食サービス業/広島県(広島市内)/100～499人】
14	国内外において、いろんなことに前向きにチャレンジできるような人を育てて欲しいと思います。【その他サービス/愛媛県/100～499人】
15	広島県内の過疎化が進む町に対策を考え、活性化していきけるよう貢献して頂きたいです。【宿泊業、飲食サービス業/広島県(広島市以外)/100～499人】
16	グローバル感覚を持った学生の育成に取り組んで下さい。【製造業/山口県/100～499人】
17	現状に満足することなく、社会において何ができるかを、自ら考え、提案できる人材を期待します。【卸売業、小売業/広島県(広島市以外)/～99人】
18	専攻云々よりも、題材は何であれ「何か一つのテーマを真剣に考えつくす経験」をした学生が社会に出てきて頂きたいと思っています。【金融業(銀行、信託、証券、貸金)/広島県(広島市内)/100～499人】
19	今後、弊社で外国人実習生の雇用を開始します。その方達に対する管理、指導をしてくれる人材を必要としていますので、その際は是非、よろしくお願い致します。【運送業、郵便業/広島県(広島市内)/500～999人】
20	弊社は地元企業として、広島を知る人、広島で活躍する人材を求めています、社会全般を把握することも大変重要であると思っております。新設される学科に期待しております。【その他サービス/広島県(広島市内)/500～999人】
21	戦後の左翼思想の影響を受けた多くの日本人が、戦後日本の平和は憲法9条によるものと考えている。このため、日本の安全保障に関する健全な議論ができない状況にある。国際政治学の教育を通じ、諸外国の学生と国際平和について論理的な議論ができる学生を育成して頂きたい。【生活関連サービス業、娯楽業、旅行業/岡山県/1,000～2,999人】
22	諸外国の方の入学にも門戸を開かれる様、期待します。【製造業/広島県(広島市内)/～99人】
23	現代の諸課題の解決に向けたものと思われ、大いに期待できる構想と考えます。【公務/広島県(広島市内)/100～499人】
24	地域密着の企業として、広島活性化に貢献できる人材輩出を期待しています。【運送業、郵便業/広島県(広島市内)/1,000～2,999人】
25	地域を主体とした人材育成に期待する。【公務/広島県(広島市以外)/100～499人】
26	グローバル化に対応する為、必要となる。しかしながら、語学が第一と考える。【製造業/広島県(広島市内)/100～499人】
27	広島県内にとらわれず、広い視野と多様性による幅広い考えができる人材育成に期待したい。【製造業/広島県(広島市内)/1,000～2,999人】
28	地域創造学科のお考えは、地域に根ざす企業として、とても共感ができます。インターンシップなどで是非学生様と交流したいです。【建設業/広島県(広島市以外)/～99人】
29	失敗しても良いので、自分から物事に挑戦していく人材を育成して欲しい。【NPO、NGO、協同組合/広島県(広島市以外)/100～499人】
30	国際的思想を持つことは、非常に素晴らしいことだが、採用時には地元思考が強い学生が多くなるので、ギャップを埋める活動に期待する。【建設業/その他/1,000～2,999人】

31	弊社もこれより海外展開に注力して参りますので、国際社会で通用する日常的なコミュニケーションと、根本的なメンタルを兼ね備えた方の入社を期待させて頂いております。よろしくお願ひ申し上げます。【製造業/広島県(広島市内)/100~499人】
32	期待しております。【宿泊業、飲食サービス業/広島県(広島市内)/100~499人】
33	1度講義に参加してみたい。【卸売業、小売業/広島県(広島市以外)/~99人】
34	大学で何を学んだのか、成果が明確に発揮でき、学生のその後の人生の支えとなるような指導環境を期待します。【公務/愛媛県/100~499人】
35	世界または地域を学んだ学生さんが、様々な方向から物事が考えられるのではないかと思います。今、生活や仕事が多様になっている社会で、そのような多様性を持った学生さんが育つことに期待しています。【建設業/山口県/500~999人】
36	当社は備後地区の建材卸会社ですが、地場の発展に力を入れているところは、地域創造学科に近いところがあると思います。今後とも宜しくお願いいたします。【卸売業、小売業/広島県(広島市以外)/~99人】
37	学部新設、誠におめでとうございます。期待させて頂いている点は以下2点です。■広い視野で物事を考えられる方の育成 ■リーダーシップのとれる行動力がある人材の育成【卸売業、小売業/広島県(広島市内)/~99人】
38	個の力も大切ですが、国際的に活躍する為には衆に適応できる人材の育成が必要と考えます。国のあり方も同様かと思っておりますので、優良な社会人を多く生み出して下さい。【学術研究、専門・技術・翻訳サービス業/広島県(広島市内)/100~499人】
39	“広島大学”ですので、広島就職を視野に入れた授業を行って頂きたいです。他大学を含め、優秀な人材は、やはり都心に流れやすい傾向が否めません。弊社が学生様にとって魅力ある企業になる為に尽力するのはもちろんですが、大学側からもサポートがあれば幸いです。新設学部を期待しております。【教育、学習支援業/広島県(広島市内)/100~499人】
40	基礎学力の低下は、どの大学でも見受けられるが、貴大学の場合、上位層と下位層の差が激しすぎます。安易にAOや推薦での合格をだすのではなく、一般入試生の比率を高めて頂きたいです。【製造業/広島県(広島市以外)/1,000~2,999人】
41	海外勤務を希望される方は、海外の人とのコミュニケーション能力をアップする為、日本の歴史・文化に精通した人を育てて下さい。【NPO、NGO、協同組合/岡山県/~99人】
42	特にありませんが、語学教育し、力を入れられたら、それで良いのではと思う。【製造業/広島県(広島市以外)/100~499人】
43	地域学生の場合、地元で働きたいと感じている学生が多い傾向にあると思っています。逆に言えば、「海外で活躍したい」「全国を飛び回り活躍したい」という学生は、少数派と感じます。就職先は地元志向等の学生の考え方が、この学部の開設により、どのように変わるのか注視させて頂きます。【製造業/広島県(広島市内)/100~499人】
44	国際感覚、地域の視点のどちらか一方ではなく、双方から物事を見る力を保った学生が、社会人としてバランスが取れ、活躍できる人材になると考えています。大いに期待しております。【建設業/山口県/100~499人】
45	学生が主体的に学べる学部、勉学に打ち込める教育体制づくりを希望します。【公務/山口県/100~499人】
46	今後は、企業内でも様々な国籍の方が働く時代となっていきます。国籍による偏見なく、互いの意見を尊重できる人材に期待しています。【製造業/広島県(広島市以外)/500~999人】
47	この分野を勉強する方が一人でも多く増えれば、地球規模で平和な暮らしが訪れる第一歩になると思います。【卸売業、小売業/広島県(広島市内)/~99人】
48	学部は関係なく、様々な経験に基づく精神的タフさや想像力・発想力がある感性豊かな人材が求められていると思います。また、組織人としての対応力やコミュニケーション力が欠けている傾向にあると感じています。学生時代におけるクラブ活動やサークル活動等により培われた、上下関係や仲間意識が社会人(組織人)として重要であると思います。【公務/その他/500~999人】
49	これから特に有益となるのは、実際の現場での体験です。ミスマッチを防ぐ為にも、現場を通じた教育となればと期待しております。【医療、福祉/広島県(広島市内)/100~499人】
50	当社は、中小企業ですので、「国際コミュニティ学部」と共通するようなものはありません。しかし、社会的には、グローバル化が進む中で、海外の企業と取引される企業にとっては、今後必要な人材育成の柱となっていく学部なのかもしれません。【製造業/広島県(広島市以外)/~99人】
51	当社は、地域密着型で店舗展開を進めている企業ですので、地域問題に関する学科で学んだ力を活かして頂けるのなら嬉しいと思います。【生活関連サービス業、娯楽業、旅行業/広島県(広島市以外)/100~499人】
52	公開講座の開設を希望。【医療、福祉/山口県/100~499人】
53	「国際政治学科」は特殊な学科のようですので、企業が限られてくるように感じます。「地域創造学科」は、地域・地方の活性化に役立つ人材の育成となり、魅力的な学生様が期待できるように感じます。【卸売業、小売業/広島県(広島市内)/500~999人】
54	弊社の募集している職種と異なります。【その他サービス/広島県(広島市内)/100~499人】
55	地域の活性化と発展に貢献することを目指して頂きたいです。【金融業(銀行、信託、証券、貸金)/岡山県/500~999人】
56	地域社会など現実をしっかりとらえ、その上で構想・計画・実行ができるような人材育成を期待する。理論の上でのみでなく、地に足の着いた人材が必要とされている。【保険業/広島県(広島市内)/~99人】

57	地域創造学科においては、地域課題に対する取り組みをしっかりと現場で学び、卓上だけでなく、しっかりと経験を積んで学んでほしい。【公務/広島県(広島市以外)/100～499人】
58	語学スキルの高い方が入社することにより、積極的に企業として海外進出できる。【運送業、郵便業/広島県(広島市内)/500～999人】
59	すぐに社会で役立つ知識・スキルは大事ですが、自分の頭で考え行動できる、人の気持ちを考え分かろうとする人間力の養成を上手くカリキュラムに入れることができれば、活躍できる人材を輩出できると思います。【製造業/広島県(広島市内)/1,000～2,999人】
60	修大の特色を活かした地域活性化につながる人材育成を期待しています。【製造業/広島県(広島市内)/～99人】
61	グローバル化が進む一方で、人口の減少、地域コミュニティの消滅が懸念されています。国は一億総活躍社会の実現を目指していますが、欠かせないのは人と人との絆です。そのために、世界を知る人、地域を知る人、世界とつながる人、地域を発信する人の養成は急務です。新設される「国際コミュニティ学部」に期待しています。【製造業/広島県(広島市内)/100～499人】
62	様々な問題に対しての理解力や解決力を身に付けた学生様に期待しております。【宿泊業、飲食サービス業/広島県(広島市内)/100～499人】
63	グローバルな活動が出来る人材育成を望みます。【卸売業、小売業/広島県(広島市内)/500～999人】
64	海外に目を向けた人ではなく、日本国内で働く多くの外国人とコミュニケーションを取れる人材が必要になってくると思います。言葉の能力があればもちろん良いのですが、外国語学科ではなく、国際コミュニティ学部として、外国人と積極的に関わりたい。社内の日本人と、社内の外国人の橋渡しの人材が求められると思います。【製造業/広島県(広島市以外)/100～499人】
65	国際的なリベラルアーツを身に付けることは、就職に有利ということだけでなく、学生が長い人生を豊かに生きるために、非常に有意義なことであると考えます。【製造業/広島県(広島市内)/100～499人】
66	問5以降については、選択肢による回答が難しい部分がありますので、採用試験担当者の私見となりますが、本紙で回答いたします。貴学が設置構想中の国際コミュニティ学部国際政治学科及び、地域創造学科は、資料を拝見する限りいずれも魅力的で、これからの社会にとって必要なものであると思います。その上で、本県職員として採用したいかという点ですが、本県職員採用試験における、行政・事務職や、技術系職種については、出身大学・学部の条件を設けていないため、様々な学歴・経歴を有する方が受験されています。本県としましては、熱意と問題意識を持って仕事に取り組むチャレンジ精神に溢れる方を求めており、貴学の新しい学科が、専門的知識と併せて人間的魅力を培い、公務の魅力と重要性も学べるものとしていただければと思います。【公務/岡山県/10,000人～】
67	語学力(特に英語)の高い学生の方を多く輩出されることを、心より期待しております。【その他/広島県(広島市以外)/1,000～2,999人】
68	留学を義務づける、TOEICを卒業要件に定めるなど国際の名にふさわしい人材を輩出されることを期待しています。【教育、学習支援業/広島県(広島市内)/～99人】
69	高知県は中山間地域が多く、課題も多い。地域に暮らし、地域住民と一緒にあって課題を解決していく人材を期待しています。【公務/その他/100～499人】

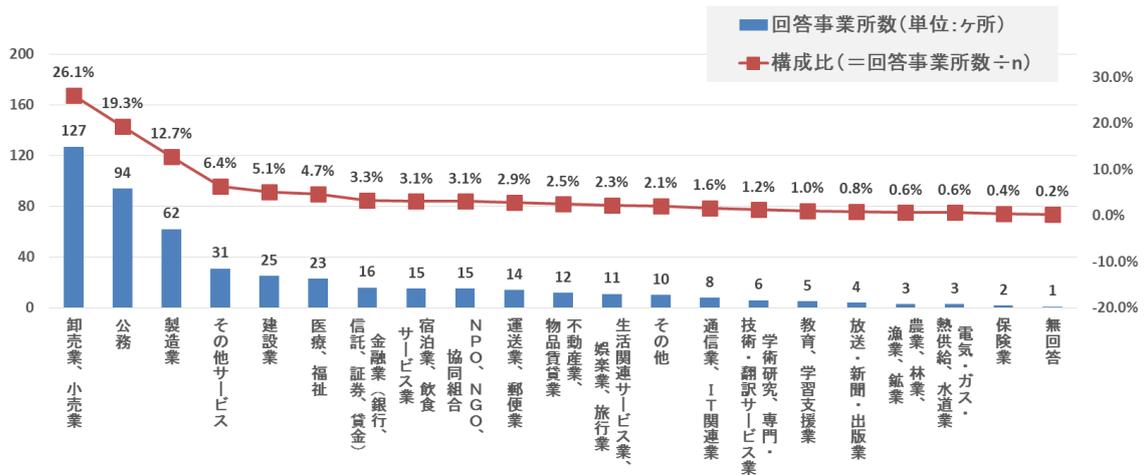
3. 「新設構想についての人材需要アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

- 「卸売業、小売業」「公務」を始め、幅広い業種の事業所から回答。

人材需要アンケートで回答を得た 487 ヶ所の事業所を業種別でみた場合、最も多かったのは「卸売業・小売業」で 127 ヶ所（全体の 26.1%）であった。他にも「公務」94 ヶ所（同 19.3%）、「製造業」62 ヶ所（同 12.7%）、「NPO、NGO、共同組合」15 ヶ所（同 3.1%）など、計 20 業種にわたる幅広い事業所から回答を得ることができた。

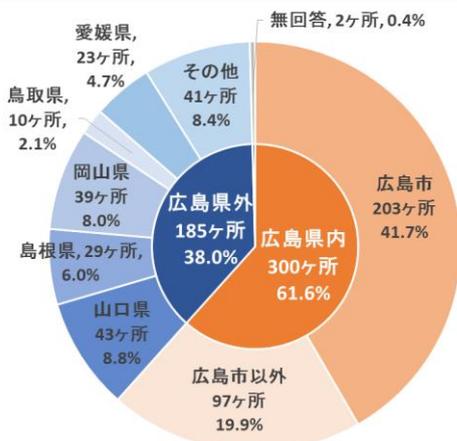
グラフ 回答を得た事業所の種別（「問1」結果より／左より回答数が多い順）



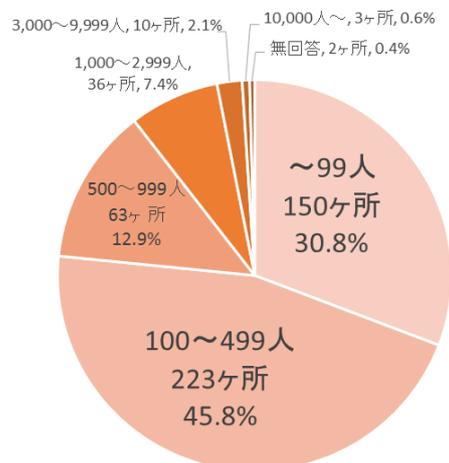
- 広島県内を中心に、中国・四国地方のさまざまな規模の事業所から回答。

回答を得た事業所 487 ヶ所、300 ヶ所（全体の 61.6%）が広島県内、185 ヶ所（同 38.0%）が山口県、島根県、岡山県、愛媛県など中国・四国地方の事業所であった。従業員・職員規模別にみた場合、「100～499人以上」が 223 ヶ所（同 45.8%）で最も多く、以下「～99人」150 ヶ所（同 30.8%）、「500人～999人」63 ヶ所（同 12.9%）であった。このように県内を中心に、中四国の幅広い規模の事業所から回答が得られた。

グラフ 回答を得た事業所の所在地（「問2」結果より）



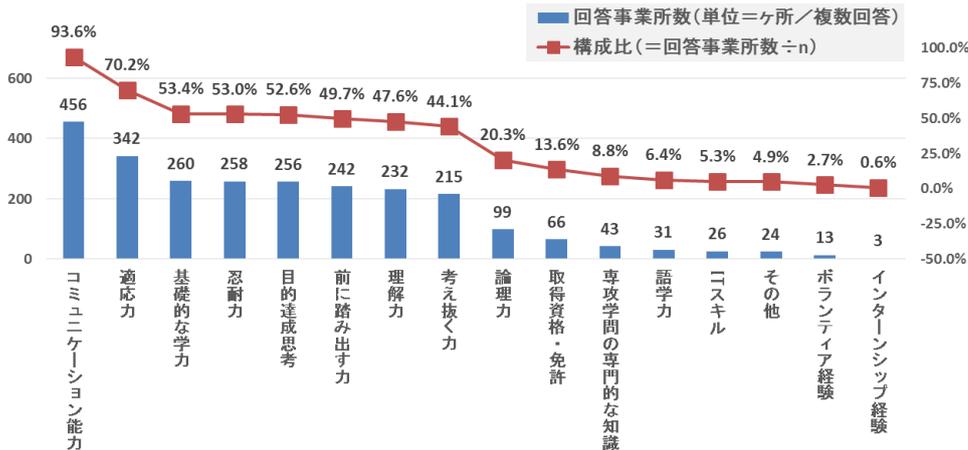
グラフ 同 従業員・職員数規模（「問3」結果より）



● 新卒採用時には9割以上の事業所が「コミュニケーション能力」を重視。

新卒採用の際に重視する能力・体験等としては、456ヶ所（全体の93.6%）が「コミュニケーション能力」を、他にも過半数が「適応力」「基礎的な学力」「忍耐力」「目的達成思考」を挙げた（いずれも複数回答の結果）。

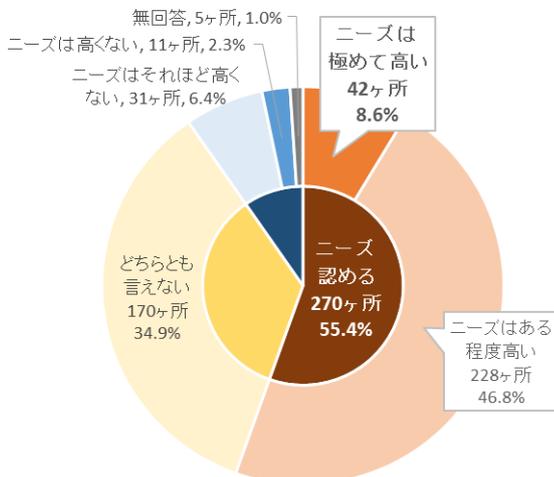
グラフ 新卒採用時に求める能力・体験等（「問4」結果より／左より回答数が多い順）



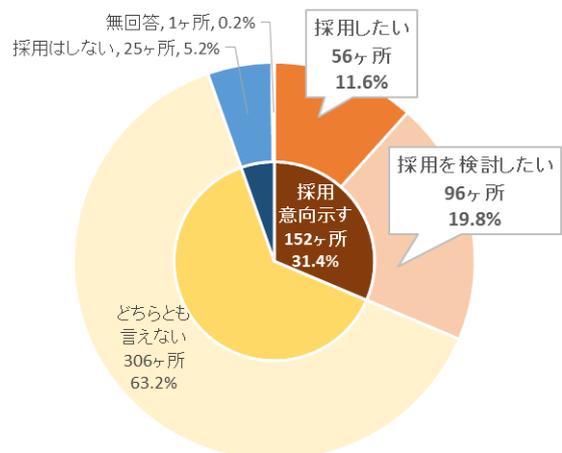
● 「国際政治学科（仮称）」卒業生に対し過半数が社会的ニーズを認め、152ヶ所が採用意向。

広島修道大学が「国際コミュニティ学部（仮称）」に開設予定の2つの学科のうち、「国際政治学科（仮称）」が養成する人材について270ヶ所（全体の55.4%）が社会的ニーズを認めた。また、卒業後の採用については56ヶ所（同11.6%）が「採用したい」、96ヶ所（19.8%）が「採用を検討したい」とし、計152ヶ所（31.4%）が採用意向を示した。さらにこれらの事業所が示した採用可能人数は「国際政治学科（仮称）」の入学定員75名を大幅に上回る210人（「採用したい」107人、「検討～」103人）であった。

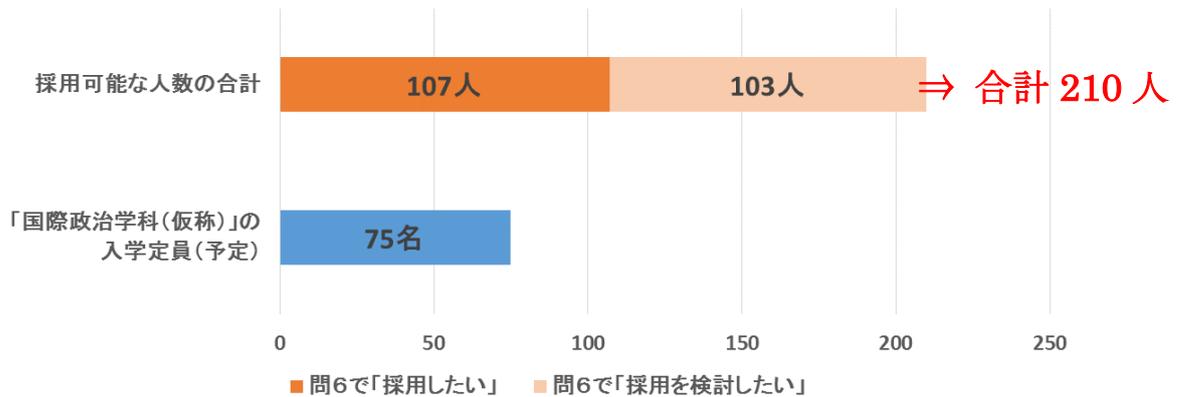
グラフ 「国際政治学科（仮称）」卒業生のニーズ（「問5」結果より）



グラフ 「国際政治学科（仮称）」卒業生の採用意向（「問6」結果より）



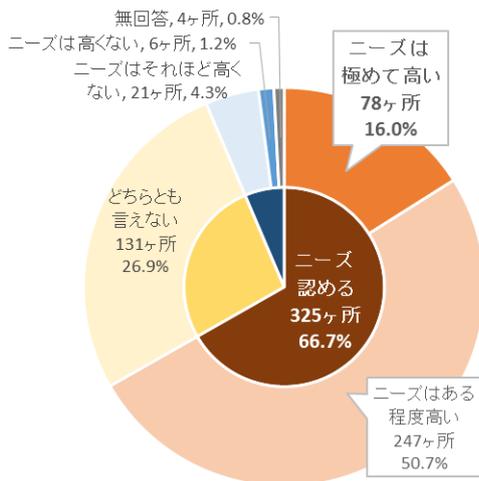
グラフ 「国際政治学科（仮称）」卒業生について採用が見込まれる人数（「問6」結果より）



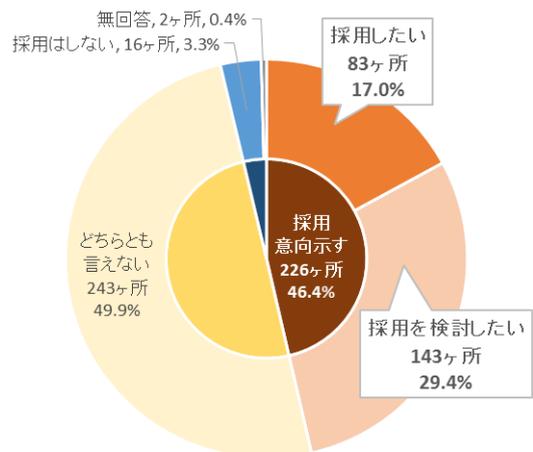
● 「地域創造学科（仮称）」卒業生に対し7割近くが社会的ニーズを認め、226ヶ所が採用意向。

広島修道大学が「国際コミュニティ学部（仮称）」に開設予定の2つの学科のうち、「地域創造学科（仮称）」が養成する人材について325ヶ所（全体の66.7%）が社会的ニーズを認めた。また、卒業後の採用については83ヶ所（同17.0%）が「採用したい」、143ヶ所（29.4%）が「採用を検討したい」とし、計226ヶ所（46.4%）が採用意向を示した。さらにこれらの事業所が示した採用可能人数は「地域創造学科（仮称）」の入学定員75名を大幅に上回る298人（「採用したい」150人、「検討～」148人）であった。

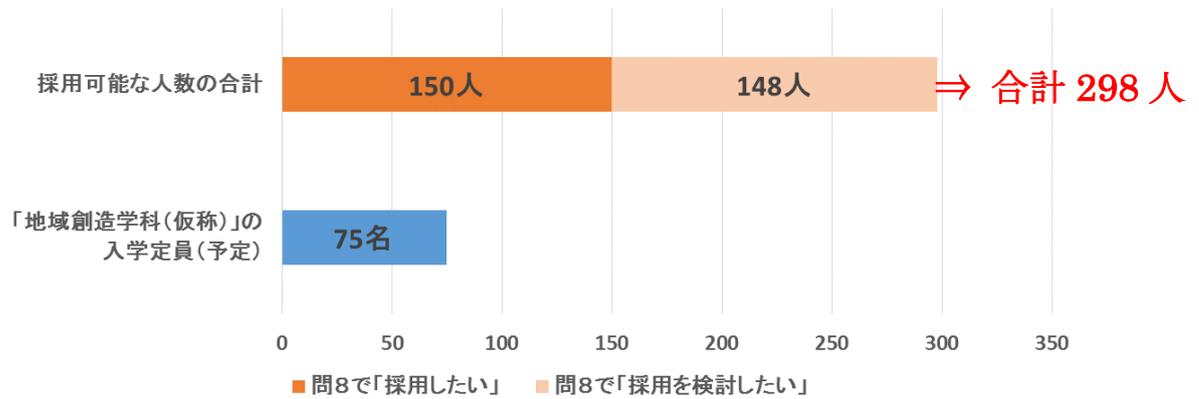
グラフ 「地域創造学科（仮称）」卒業生のニーズ（「問7」結果より）



グラフ 「地域創造学科（仮称）」卒業生の採用意向（「問8」結果より）



グラフ 「国際政治学科（仮称）」卒業生について採用が見込まれる人数（「問6」結果より）



【添付①】

「新設構想についての高校生アンケート調査」

広島修道大学

国際コミュニケーション学部

● 国際政治学科 ● 地域創造学科

学部学科名称はいずれも仮称です

新設構想についての高校生アンケート調査

(対象：現在、高校2年生の皆さん)

広島修道大学(広島市安佐南区大塚東1-1-1)は2018年(平成30年)4月に国際コミュニケーション学部(仮称)を新設し、国際政治学科(仮称)・地域創造学科(仮称)を開設予定です(両学科とも法学部 国際政治学科改組、定員各75名)。本学ではこのアンケート調査により、2018年に大学進学時期をむかえる現・高校2年生の皆さんの皆さまのご意見を聞き、構想内容に少しでも反映したいと考えています。回答いただいた皆さんから得られた情報は広島修道大学の新設学部構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

高校生の皆さんのアンケート調査への協力をお願いします。

※このアンケート調査は広島修道大学から委託された第三者機関(株式会社拓伊調査)が実施しています。

問1 あなたがお住まいの市町村または都道府県をお答えください。(あてはまるものに○)

- 【広島県】
- | | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 広島市 | 2. 府中市 | 3. 海田町 | 4. 熊野町 | 5. 坂町 |
| 6. 廿日市市 | 7. 大竹市 | 8. 安芸太田町 | 9. 北広島町 | 10. 安芸高田市 |
| 11. 江田島市 | 12. 呉市 | 13. 東広島市 | 14. 大崎上島町 | 15. 竹原市 |
| 16. 三原市 | 17. 世羅町 | 18. 三次市 | 19. 尾道市 | 20. 福山市 |
| 21. 府中市 | 22. 神石高原町 | 23. 庄原市 | | |
- 【広島県以外】
- | | | | | |
|---------------|---------|---------|---------|---------|
| 24. 山口県 | 25. 鳥取県 | 26. 島根県 | 27. 岡山県 | 28. 愛媛県 |
| 29. その他(都道府県) | | | | |

問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものに○)

1. 男性 2. 女性

問3 高校卒業後の希望進路についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 大学 2. 短期大学 3. 専門学校
4. 就職 5. その他()

問4 あなたの興味のある学習分野をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 文学・歴史・心理 2. 経済・経営・商学 3. 法学・政治
4. 地域科学・地域政策 5. 社会・福祉・観光 6. 外国語・国際関係
7. 教育・保育 8. 理学・工学・情報 9. 農・畜産・水産
10. 医学・歯学・薬学 11. 医療(看護以外) 12. 医療(看護以外)
13. 栄養・家政 14. スポーツ・健康科学 15. 芸術
16. その他()

問5 あなたが将来、希望する進路をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 一般企業 2. 公務員 3. 専門職(資格をいかす職業)
4. 教員 5. 起業・会社経営 6. まだ決めていない
7. その他()

問6以降は、次ページ(「国際コミュニケーション学部(仮称)の概要」)をご覧ください。

以下の問9・問10は、問6で「2. 受験しない」と回答した方がお答えください。

問9 あなたが「国際コミュニティ学部(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 興味・関心のある学問分野ではないから
2. 国公立大学への進学を希望しているから
3. 他の私立大学への進学を希望しているから
4. 短期大学への進学を希望しているから
5. 専門学校への進学を希望しているから
6. 就職を希望しているから
7. アクセシビリティが不便だから
8. 学費が高いから
9. その他、理由がなければお書きください。

[]

問10 以下は「国際コミュニティ学部(仮称)」以外の広島修道大学の学科です。
あなたが受験を検討したいと思う学科、もしくは興味・関心がある学科はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------|----------------|--------------|
| 【商学部】 | 1. 商学科 | 2. 経営学科 |
| 【人文学部】 | 3. 人間関係学科社会学専攻 | 4. 教育学科 |
| | 5. 英語英文学科 | |
| 【法学部】 | 6. 法医学科 | |
| 【経済科学部】 | 7. 現代経済学科 | 8. 経済情報学科 |
| 【人間環境学部】 | 9. 人間環境学科 | |
| 【健康科学部】※ | 10. 心理学科 ※ | 11. 健康栄養学科 ※ |

※2017年(平成28年)4月に開設予定(英語認可申請中)

4 / 13

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

【添付②】

「新設構想についての人材需要アンケート調査」

広島修道大学

国際コミュニケーション学部

● 国際政治学科 ● 地域創造学科

学部学科名称はいずれも仮称です

新設構想についての人材需要アンケート調査

(対象：人事採用ご担当者様)

広島修道大学(広島市安佐南区大塚東1-1-1)は2018年(平成30年)4月に国際コミュニケーション学部(仮称)を新設し、国際政治学科(仮称)・地域創造学科(仮称)を開設予定です(両学科とも法学部 国際政治学科に設け、定員各15名)。

本学は、さまざまな分野で広く社会の発展に貢献できる人材の育成を目的としております。ついでには将来ご採用をご検討いただく企業、団体の皆様にご意見を賜ることが重要と考え、本アンケートを実施させていただきました。ご回答いただいた皆様から得られた情報は広島修道大学の新設構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は広島修道大学から委託された第三者機関(株式会社伊屋書店)が実施しています。

はじめに、貴社・貴機関・貴団体についてお尋ねいたします。

問1 貴社・貴機関・貴団体の主業種をお答えください。(あてはまるもの1つに○をしてください。)

1. 農業、林業、漁業、鉱業
2. 建設業
3. 電気、ガス、熱供給・水道業
4. 製造業
5. 通信業、IT関連業
6. 放送 新聞・出版業
7. 運輸業、郵便業
8. 卸売業、小売業
9. 金融業(銀行・信託・証券・貸金)
10. 娯楽業
11. 不動産業、物品賃貸業
12. 学術研究、専門・技術・翻訳サービス業
13. 宿泊業、飲食サービス業
14. 教育、学習支援業
15. 生活関連サービス業、娯楽業、旅行業
16. 医療、福祉
17. その他サービス業
18. NPO、NGO、協同組合
19. 公務
20. その他()

問2 貴社・貴機関・貴団体の本社または主たる事業所の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つに○をしてください。)

1. 広島県(広島市内)
2. 広島県(広島市以外)
3. 山口県
4. 鳥取県
5. 岡山県
6. 鳥取県
7. 愛媛県
8. その他()

問3 貴社・貴機関・貴団体の従業員または職員数の規模をお答えください。(あてはまるもの1つに○をしてください。)

1. ～99人
2. 100～499人
3. 500～999人
4. 1,000～2,999人
5. 3,000～9,999人
6. 10,000人～

問4 貴社・貴機関・貴団体において、大学新卒者を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。(あてはまるものすべてに○をしてください。)

1. コミュニケーション能力
2. 基礎的な学力
3. 専攻学問の専門的な知識
4. 語学力
5. 考え抜く力
6. 前に踏み出す力
7. 目的達成志向
8. 適応力
9. インターンシップ経験
10. ボランティア経験
11. 忍耐力
12. 理解力
13. 論理力
14. 取得資格・免許
15. ITスキル
16. その他() ※ 該当のみを含む

国際コミュニケーション学部 国際政治学科(仮称) 地域創造学科(仮称)

新設
募集

学部
概要

開学時期: 2018年(平成30年)4月(予定) ◎ 開設場所: 広島市安芸南区大塚東1-1-1 ◎ 修業年限: 4年
◎ 入学定員: 150名(仮称定員: 100名) ◎ 国際政治学科(仮称)・地域創造学科(仮称)ともに各75名(仮称定員300名)
◎ 取得できる資格: 中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(公民) ※2学科共通

▶ 国際政治学科(仮称) 入学定員: 75名(仮称定員: 300名) 取得学位: 学士(国際政治学)

グローバル化が進む現在、地域の問題と地球全体の関連性を強め、私たちは地球規模の一体化を突進する社会に生きています。地球全体を一つのコミュニティと捉え、平和な国際社会の実現につながる政治のあり方を理解する人材の養成を目的とします。

業 成 する 人 材

○ **世界を知る人**
世界各地域の政治・社会に関する広い知識を持ち、世界で起る様々な出来事の原因を理解できる人

○ **世界とつながる人**
国際社会の背景を把握できる思考力・判断力を持ち、国際共通語としての英語をもちいて広島と世界をつなぐことができる人

○ **世界で行動する人**
多様な立場や価値観を尊重し、主体性をもって、様々な国の人々と相互協力できる。国際的知性と良識を備えた人

学 科 特 色

● **国際社会の政治課題に関する議論の深化**
グローバル化が進む中で起る様々な問題を理解し、その改善・解決の方策を考え提案することを通じて、国際社会の政治課題についての議論を深めます。

● **国際コミュニケーション科目の充実**
世界の各地域について学び、異文化への理解や対応力を高めるとともに、国際共通語としての英語をもちいて、広島や日本を世界に向けて発信する知識と技能を身につけます。

● **異文化体験の拡がり**
短期・中長期の海外体験・留学・語学研修、留學生との交流、海外からの訪問者・観光客との交流などの体験プログラムを通して、国際感覚を養います。

進 路

★ **国際競争に立ち勝つ力**を養育できる職業人
進路先の例: 海外展開する民間企業、金融機関、メディア系企業、運輸・航空業、翻訳・通訳業、NGO、NPO、教員(中学校、高等学校)、大学院進学など

▶ 地域創造学科(仮称) 入学定員: 75名(仮称定員: 300名) 取得学位: 学士(地域政策学)

人口の減少、地域コミュニティの消滅が懸念される現在、多くの政策・行政が地域に向けてられています。地域・価値の発見・再発見、新たな価値を生み出すイノベーションを通じて、地域の持続的発展を担い、価値を創出し、繋ぎつけることのできる構想力、実行力を有する人材の養成を目的とします。

業 成 する 人 材

○ **地域を知る人**
政策・行政の場面で、広い視野と思考力・判断力を持って、地域の価値と課題を把握・理解できる人

○ **地域を築き上げる人**
地域の課題解決の方策を、地域内外の多様な人々と協働して、探索・考案し発表・発信できる人

○ **地域で行動する人**
地域社会の抱える多様な課題解決のための取組みを、地域内外の多様な人々と協働して、主体的に実施できる人

学 科 特 色

● **地域社会をめぐめる価値・課題の発見・体験**
多様な人々との協働を通して、地域社会の価値と課題を体験・体得する活動・中長期のフィールド学習プログラムを実施します。

● **地域の政策・行政に関する議論の深化**
フィールド学習で得た経験・体験を学問的・体系的に整理し、地域社会の課題の解決方策を政策・行政の場で発表・考案・発表・発信します。

● **イノベーションに関する科目の充実**
地域の価値の発見、再発見、創造、地域課題の探索・解決に必要な構想力、実行力を養います。

進 路

★ **地域の特性を活かした活躍力、実行力を養育できる職業人**
進路先の例: 地域産業振興に貢献する民間企業、協同組合、地方公務員、地方議会議員、金融機関、旅行業、コンサルタン、NGO、NPO、起業、大学院進学など

「国際コミュニケーション学部(仮称)の概要」は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

問5 広島修道大学が新設構想中の「国際コミュニケーション学部(仮称)」の概要をご覧の上でもお答えください。

問5 広島修道大学が新設構想中の「国際コミュニケーション学部(仮称)」に開設される2つの学科のうち、「国際政治学科(仮称)」が養成する人材は社会的ニーズが高いと思われませんか。(あてはまるもの1つに○をし、2つに○をしてください)

1. ニーズは極めて高い
2. ニーズはある程度高い
3. どちらとも言えない
4. ニーズはそれほど高くない
5. ニーズは高くない

問6 広島修道大学が新設構想中の「国際コミュニケーション学部(仮称)」に開設される2つの学科のうち、「国際政治学科(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つに○をし、1または2の場合人数をご記入ください)

1. 採用したい
 2. 採用を検討したい
 3. どちらとも言えない
 4. 採用はしない
- 1または2の場合、よろしければ採用可能と思われる人数をご記入ください。
- 名

問7 広島修道大学が新設構想中の「国際コミュニケーション学部(仮称)」に開設される2つの学科のうち、「地域創造学科(仮称)」が養成する人材は社会的ニーズが高いと思われませんか。(あてはまるもの1つに○をし、2つに○をしてください)

1. ニーズは極めて高い
2. ニーズはある程度高い
3. どちらとも言えない
4. ニーズはそれほど高くない
5. ニーズは高くない

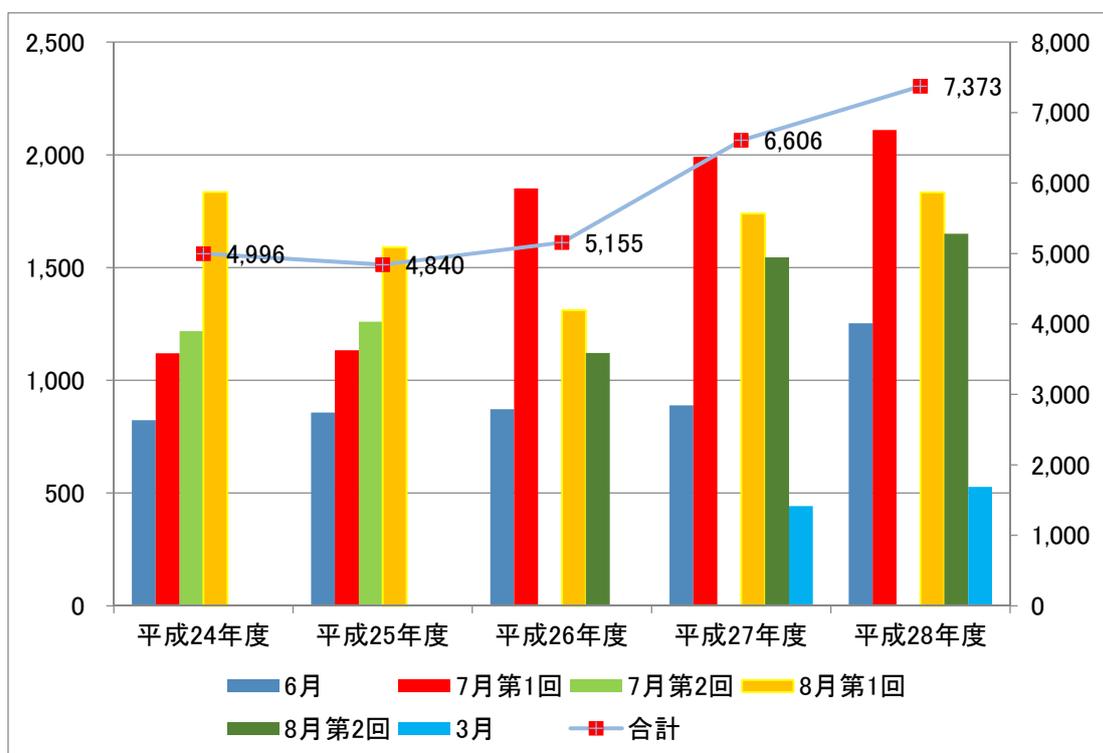
問8 広島修道大学が新設構想中の「国際コミュニケーション学部(仮称)」に開設される2つの学科のうち、「地域創造学科(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つに○をし、1または2の場合人数をご記入ください)

1. 採用したい
 2. 採用を検討したい
 3. どちらとも言えない
 4. 採用はしない
- 1または2の場合、よろしければ採用可能と思われる人数をご記入ください。
- 名

問9 広島修道大学が新設構想中の「国際コミュニティ学部(仮称)」に対して、期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございます。

資料7 平成 25～29 年度オープンキャンパス来場者数



付表 オープンキャンパス来場者数

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
6 月	823	857	872	889	1,253
7 月第 1 回	1,120	1,133	1,851	1,991	2,110
7 月第 2 回	1,218	1,260			
8 月第 1 回	1,835	1,590	1,311	1,739	1,833
8 月第 2 回			1,121	1,545	1,650
3 月				442	527
合計	4,996	4,840	5,155	6,606	7,373

資料8. 本学職員による過去3ヶ年の受験生・保護者向け入試相談会実績

平成26年

回	場所	会場	月日	曜日	時間
1	広島	広島グリーンアリーナ	4月23日	水	14:00 ~ 18:30
2	岡山	岡山コンベンションセンター	5月8日	木	16:00 ~ 18:30
3	呉	呉阪急ホテル	5月27日	火	16:00 ~ 18:30
4	北九州	西日本総合展示場 新館 AIMビル	5月27日	火	15:00 ~ 19:00
5	広島西	広島サンプラザ	5月28日	水	16:00 ~ 18:30
6	福山	福山ニューキャッスルホテル	5月29日	木	16:00 ~ 18:30
7	広島	基町クレド	5月31日	土	11:00 ~ 16:30
8	松山	松山市総合コミュニティセンター体育館	6月5日	木	15:30 ~ 18:30
9	広島	リーガロイヤルホテル広島	6月9日	月	13:30 ~ 18:30
10	福山	福山ニューキャッスルホテル	6月11日	水	15:30 ~ 18:30
11	周南	ホテルサンルート徳山	6月11日	水	16:00 ~ 18:30
12	防府	ルルサス防府	6月12日	木	16:00 ~ 18:30
13	松江	くにびきメッセ	6月14日	土	13:30 ~ 16:30
14	広島	広島産業会館	6月18日	水	13:30 ~ 19:00
15	広島	基町クレド	6月20日	金	16:00 ~ 18:30
16	広島	広島県民文化センター	6月28日	土	14:30 ~ 16:30
17	広島	基町クレド	7月13日	日	11:00 ~ 16:00
18	八幡浜	JAにしうわ会館	9月10日	水	16:00 ~ 18:30
19	宇和島	サブライムホール	9月11日	木	16:00 ~ 18:30
20	今治	今治国際ホテル	9月18日	木	16:00 ~ 18:30
21	広島	基町クレド	9月19日	金	16:00 ~ 18:30
22	福山	福山ニューキャッスルホテル	9月22日	月	16:00 ~ 18:30
23	松山	松山市総合コミュニティセンター	9月24日	水	15:30 ~ 18:30
24	岡山	岡山コンベンションセンター	9月30日	火	16:00 ~ 18:30
25	福岡	マリンメッセ福岡(夢ナビ)	10月18日	土	11:00 ~ 17:30
26	広島西	広島サンプラザ	10月23日	木	16:00 ~ 18:30
27	松山	いよてつ高島屋	11月13日	木	16:00 ~ 18:30
28	呉	呉阪急ホテル	11月18日	火	16:00 ~ 18:30
29	岡山	岡山コンベンションセンター	11月19日	水	16:00 ~ 18:30
30	広島	基町クレド	11月20日	木	16:00 ~ 18:30
31	福山	福山商工会議所	11月21日	金	16:00 ~ 18:30
32	米子	米子ワシントンホテルプラザ	12月9日	火	16:00 ~ 18:30
33	松江	松江テルサ	12月10日	水	16:00 ~ 18:30
34	福岡	ソラリアステージ	12月16日	火	15:00 ~ 18:00

平成27年

回	場所	会場	月日	曜日	時間
1	岡山	岡山コンベンションセンター	5月7日	木	16:00 ~ 18:30
2	呉	呉阪急ホテル	5月26日	火	16:00 ~ 18:30
3	広島西	広島サンプラザ	5月27日	水	16:00 ~ 18:30
4	福山	福山ニューキャッスルホテル	5月28日	木	16:00 ~ 18:30
5	広島	基町クレド	5月30日	土	11:00 ~ 16:30
6	福山	福山ニューキャッスルホテル	6月3日	水	14:00 ~ 18:30
7	周南(徳山)	ホテルサンルート徳山	6月4日	木	16:00 ~ 18:30
8	広島	基町クレド	6月8日	月	15:30 ~ 18:30
9	広島	広島産業会館	6月15日	月	16:00 ~ 19:00
10	広島	基町クレド	6月18日	木	16:00 ~ 18:30
11	防府	防府市地域交流センター(アスピラート)	6月19日	金	16:00 ~ 18:30
12	広島	基町クレド	7月12日	日	11:00 ~ 16:00
13	岡山	岡山コンベンションセンター	9月3日	木	15:30 ~ 18:30
14	広島	基町クレド	9月16日	水	16:00 ~ 18:30
15	松山	松山市総合コミュニティセンター体育館	9月24日	木	15:30 ~ 18:30
16	福山	福山ニューキャッスルホテル	9月28日	月	16:00 ~ 18:30
17	福岡	マリンメッセ福岡	10月17日	火	10:30 ~ 17:00
18	広島西	広島サンプラザ	10月22日	水	16:00 ~ 18:30
19	松山	松山市総合コミュニティセンター	11月12日	木	16:00 ~ 18:30
20	呉	呉阪急ホテル	11月16日	金	16:00 ~ 18:30
21	広島	基町クレド	11月17日	火	16:00 ~ 18:30
22	福山	福山商工会議所	11月18日	水	16:00 ~ 18:30
23	岡山	イオンモール岡山(おがやま未来ホール)	11月19日	火	16:00 ~ 18:30

平成28年

回	場所	会場	月日	曜日	時間
1	広島西	広島サンプラザ	5月11日	水	16:00 ~ 18:30
2	岡山	岡山コンベンションセンター	5月12日	木	16:00 ~ 18:30
3	呉	ビュー・ポートくれ(呉海員会館)	5月23日	月	16:00 ~ 18:30
4	福山	福山ニューキャッスルホテル	5月25日	水	16:00 ~ 18:30
5	広島	基町クレド	5月28日	土	11:00 ~ 16:30
6	松山	松山市総合コミュニティセンター体育館	6月2日	木	15:30 ~ 18:30
7	山口	山口市民会館	6月8日	水	16:00 ~ 18:30
8	福山	福山ニューキャッスルホテル	6月8日	水	13:30 ~ 18:30
9	周南(徳山)	ホテルサンルート徳山	6月9日	木	16:00 ~ 18:30
10	広島	基町クレド	6月9日	木	15:00 ~ 18:30
11	松江	くにびきメッセ	6月11日	土	13:30 ~ 16:30
12	広島	広島産業会館	6月14日	火	16:00 ~ 19:00
13	広島	基町クレド	6月15日	水	16:00 ~ 18:30
14	防府	ルルサス防府	6月17日	金	16:00 ~ 18:30
15	光	ホテル松原屋	6月21日	火	15:30 ~ 18:00
16	広島	広島県内大学情報説明会	7月2日	土	13:00 ~ 17:00
17	広島	NTTクレドホール	7月10日	日	11:00 ~ 16:00
18	広島	全国高等学校文化祭(2016ひろしま総文)	7月30日	土	11:00 ~ 17:00
19	広島	基町クレド	9月14日	水	16:00 ~ 18:30
20	今治	今治国際ホテル	9月15日	木	16:00 ~ 18:30
21	岡山	岡山コンベンションセンター	9月15日	木	15:30 ~ 18:30
22	福山	福山ニューキャッスルホテル	9月21日	水	16:00 ~ 18:30
23	松山	松山市総合コミュニティセンター体育館	9月23日	金	15:30 ~ 18:30
24	広島西	広島サンプラザ	10月19日	水	16:00 ~ 18:30
25	福岡	マリンメッセ福岡	10月15日	土	10:30 ~ 17:00
26	松山	松山市総合コミュニティセンター	11月10日	木	16:00 ~ 18:30
27	呉	ビュー・ポートくれ(呉海員会館)	11月14日	月	16:00 ~ 18:30
28	岡山	岡山コンベンションセンター	11月15日	火	16:00 ~ 18:30
29	広島	基町クレド	11月16日	水	16:00 ~ 18:30
30	福山	福山ニューキャッスルホテル	11月18日	金	16:00 ~ 18:30

資料9 平成26年度～28年度における模擬講義実績

平成26年

回	実施高校	学年	人数	内容・分野
1	美鈴が丘	2年生	13	法学
2	呉港	1・2年生	27	商学
3	広島なぎさ	2年生	26	法学
4	下関西	2年生	37	法学
5	山陽学園高等部	1～3年生	8	人文学
6	尾道商業	1年生	26	商学
7	広島市立沼田	1・2年生	30	法学
8	広島市立沼田	1・2年生	67	人文学
9	広島市立沼田	1・2年生	16	人間環境学
10	鈴峯女子	1年生	6	経済学
11	比治山女子	1・2年生	45	法学
12	光	1・2年生	57	経済科学
13	広島国際学院	2年生	10	法学
14	愛媛県立新居浜西	2年生	9	法学
15	広島県立尾道商業	2年生	10	商学
16	愛媛県立新居浜東	2年生	10	法学
17	尾道商業	2・3年生	21	商学
18	広島県立海田	2年生	30	心理学
19	広島県立海田	2年生	30	商学
20	広島県立福山誠之館	2年生	14	法学
21	山口県立防府商工	3年生	35	商学
22	山口県立防府商工	3年生	27	社会学
23	山口県立新南陽	3年生	38	経済学
24	広島県立祇園北	2年生	20	経営学
25	広島県立祇園北	2年生	20	法学
26	広島県立尾道東	2年生	21	経営学
27	広島県立広島商業	3年生	10	商学
28	山口県立柳井	2年生	12	法学
29	銀河学院	1・2年生	14	法学
30	山口県立下松	1・2年生	55	人文学
31	山口県立熊毛南高校	1・2年生	12	人文学
32	広島県立安芸南	1・2年生	17	法学
33	広島県立安芸南	1・2年生	28	人文学
34	山口県立徳山	1・2年生	76	法学
計			877	

平成27年

回	実施高校	学年	人数	内容・分野
1	広島県立尾道商業高等学校	2・3年生	109	経営学
2	山口県立光高等学校	全年生	84	経営学
3	広島国際学院高等学校	1年生	28	人文学
4	広島県立海田高等学校	2年生	15	心理学
5	広島県立海田高等学校	2年生	27	経済学
6	山陽学園高等部	1～3年生	15	教育学
7	山陽学園高等部	1～3年生	10	人文学
8	広島県立千代田高等学校	2年生	50	人間環境学
9	広島県立可部高等学校	1・2年生	46	人文学
10	島根県立松江東高等学校	1・2年生	65	人文学
11	広島県立廿日市西高等学校	2年生	16	人文学
12	広島県立祇園北高等学校	2年	17	法学
13	広島県立賀茂高等学校	1年生	30	法学
14	盈進高等学校	1・2年生	40	商学
15	盈進高等学校	1・2年生	24	法学
16	山口県立防府商工高等学校	3年	25	商学
17	山口県立防府商工高等学校	3年	25	経営学
18	広島県立安芸府中高等学校	1年	31	法学
19	広島県立尾道東高等学校	2年	33	法学
20	武田高等学校	1・2年	43	法学
21	愛媛県立新居浜西高等学校	1年	19	法学
22	広島国際学院高等学校	1年	72	教育学
23	広島新庄高等学校	1年	45	教育学
24	広島県立広島商業高等学校	2年	58	商学
25	山口県立下関西高等学校	2年	26	法学
26	呉武田学園呉港高等学校	1・2年	22	法学
27	呉武田学園呉港高等学校	1・2年	50	経営学
28	広島市立沼田高等学校	1・2年生	31	人文学
29	広島市立沼田高等学校	1・2年生	43	心理学
30	広島市立沼田高等学校	1・2年生	21	法学
31	山口県立光高等学校	1・2年生	68	教育学
32	比治山女子高等学校	1・2年生	27	社会学
33	比治山女子高等学校	1・2年生	42	人文学
34	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1年生	15	心理学
35	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1年生	6	人間環境学
36	広島県立尾道商業高等学校	2年生	29	商学
37	広島県立呉昭和高等学校	1・2年生	50	経営学
38	広島国際学院高等学校	2年	14	法学
39	山口県桜ヶ丘高等学校	2年	11	法学
40	広島県立安芸南高等学校	1・2年	12	法学
41	銀河学院高等学校	1・2年	16	法学
42	銀河学院高等学校	1・2年	15	教育学
43	山口県立徳山高等学校	1・2年、保護者	155	心理学
44	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1・2年	37	経営学
45	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1・2年		商学
46	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1・2年		人文学
47	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1・2年		法学
48	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1・2年		経済学
49	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1・2年		人間環境学
50	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1・2年		健康科学
計			1,823	

平成28年

回	実施高校	学年	人数	内容・分野
1	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	2年生	25	法学
2	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	2年生	42	健康栄養学
3	広島県立海田高等学校	2年生	31	経済学
4	広島県立海田高等学校	2年生	12	法学
5	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1年生		商学
6	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1年生		人文学
7	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1年生		法学
8	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1年生		経済学
9	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1年生		人間環境学
10	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1年生		健康科学
11	広島県立尾道商業高等学校	2・3年生	87	商学
12	山陽学園高等部	1～3年生	6	健康栄養学
13	山陽学園高等部	1～3年生	8	教育学
14	盈進高等学校	1・2年生	16	人間環境学
15	盈進高等学校	1・2年生	22	法学
16	山口県立防府商工高等学校	3年生	40	商学
17	山口県立防府商工高等学校	3年生	40	商学
18	呉港高等学校	1・2年生	88	商学
19	広島県立忠海高等学校	1年生	13	経済学
20	広島県立賀茂高等学校	1年生	56	教育学
21	呉港高等学校	1・2年生	55	法学
22	呉港高等学校	1・2年生	29	法学
23	比治山女子高等学校	1・2年生	67	人文学
24	比治山女子高等学校	1・2年生	39	法学
25	比治山女子高等学校	1・2年生	20	法学
26	広島国際学院高等学校	2年生	24	法学
27	広島市立沼田高等学校	1・2年生	23	法学
28	広島市立沼田高等学校	1・2年生	23	教育学
29	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1・2年生	47	教育学
30	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1・2年生	38	健康栄養学
31	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1年生	7	経済学
32	広島修道大学附属鈴峯女子高等学校	1年生	4	法学
33	山口県立徳山高等学校	1・2年生	49	健康栄養学
34	山口県立熊毛南高等学校	1・2年生	9	法学
35	済美高等学校	2年生	130	健康科学
36	山口県立光高等学校	1・2年生	8	環境学
37	広島県立徳山高等学校	1・2年生	6	健康科学
38	広島県瀬戸内高等学校	3年生	45	商学
39	広島県瀬戸内高等学校	2年生	42	商学
40	広島県立安芸南高等学校	2年生	42	心理学
41	広島県立安芸南高等学校	2年生	42	経済学
42	誠英高等学校	1・2年生	84	法学
43	広島県立安芸府中高等学校	2年生	38	商学
44	広島県立安西高等学校	2年生	21	法学
45	広島県立安西高等学校	2年生	26	人文学
46	山陽高等学校	2・3年生	32	人文学
47	山陽高等学校	2・3年生	32	人文学
48	山陽高等学校	2・3年生	32	法学
49	山陽高等学校	2・3年生	32	環境学
50	山陽高等学校	2・3年生	32	環境学
51	広島市立広島商業高等学校	2年生	47	商学
52	広島市立広島商業高等学校	2年生	47	商学
53	広島市立広島商業高等学校	2年生	47	商学
54	広島県立総合技術高等学校	1年生	42	商学
55	広島県立安芸高等学校	1年生	21	商学
56	広島県立可部高等学校	1年生	84	経済学
計			2,030	

資料10 平成26年度～28年度における大学見学実績

平成26年

回	学校名	学年	人数
1	広島県立東城	1年生	40
2	山口県立柳井商工	3年生	38
3	山口県立光	2年生	68
4	鈴峯女子	2年生	47
5	鈴峯女子	2年生	51
6	広島県立安芸南	2年生	59
7	広島国際学院	1年生	36
8	広島県立広島商業	PTA	21
9	広島県立高陽	2年生	53
10	広島県立安西	2年生	87
11	広島県立安芸府中	2年生	38
12	広島市立広島商業	2年生	27
13	広島県立広島商業	1、2年生	20
14	鈴峯女子	1年生	47
15	鈴峯女子	1年生	54
16	広島県立安芸	1年生	15
17	呉市立呉	1年生	44
18	広島県立吉田	2年生	52
19	広島県立可部	1年生	84
20	広島県立総合技術	1年生	40
21	さんぽうバスツアー	1、2年生	54
計			975

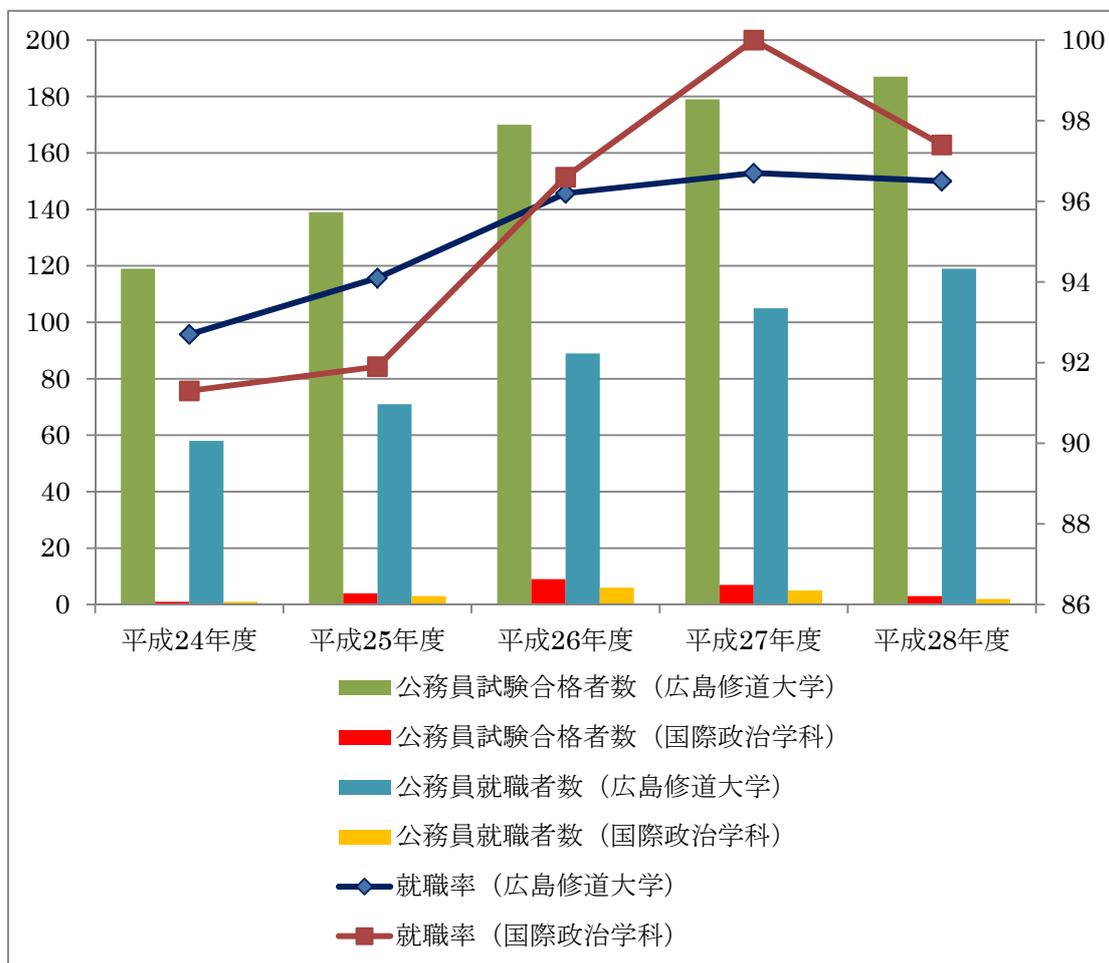
平成27年

回	学校名	学年	人数
1	大竹	1年生	92
2	東城	1年生	34
3	柳井商工	3年生	32
4	武田	1年生	51
5	鈴峯女子①	2年生	44
6	鈴峯女子②	2年生	43
7	安芸南	2年生	44
8	広島国際学院	1年生	35
9	今治北	PTA	45
10	如水館	2年生	42
11	安西	2年生	62
12	安芸府中	2年生	32
13	新南陽	2年生	44
14	三原東	2年生	139
15	市商	2年生	55
16	鈴峯女子③	1年生	191
17	広島中央特別支援	1年生	4
18	丸亀城西	1年生	28
19	湯来南	1年生	28
20	高水①	1年生	44
21	高水②	1年生	49
22	安芸府中	PTA	20
23	呉市立呉	1年生	41
24	安芸	1年生	18
25	可部	1年生	82
26	益田東	1、2年生	16
27	総合技術	1年生	39
計			1,354

平成28年

回	学校名	学年	人数
1	瀬戸内	3年生	45
2	瀬戸内	2年生	42
3	武田	1年生	49
4	尾道商業	3年生	117
5	柳井商工	年生	81
6	安芸南	2年生	43
7	誠英	1、2年生	85
8	安芸府中	2年生	38
9	安芸①	2年生	14
10	海田	PTA	54
11	市立広島商業	2年生	47
12	山陽①	2、3年生	35
13	山陽②	2、3年生	35
14	安西	2年生	47
15	総合技術	1年生	42
16	県立広島商業	PTA	20
17	安芸②	1年生	21
18	高水①	PTA	31
19	高水②	1年生	41
20	可部	1年生	84
21	呉	1年生	42
22	桜ヶ丘	2年生	51
23	県立玉島	2年生	43
計			1,107

資料 11 広島修道大学と国際政治学科の過去 5 年間の就職率・公務員試験合格者数・公務員就職者数の推移



付表 就職率・公務員試験合格者数・公務員就職者数

		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
就職率(%)	広島修道大学	92.7	94.1	96.2	96.7	96.5
	国際政治学科	91.3	91.9	96.6	100	97.4
公務員試験合格者数 (人)	広島修道大学	119	139	170	179	187
	国際政治学科	1	4	9	7	3
公務員就職者数(人)	広島修道大学	58	71	89	105	119
	国際政治学科	1	3	6	5	2